

令和5年第2回（3月）上越市議会定例会

文教経済常任委員会資料

案件番号	案件名	提出課	ページ
議案第15号	令和4年度上越市一般会計補正予算(第8号)	産業政策課ほか	1～9
議案第29号	上越市女性サポートセンター条例の一部改正について	産業政策課	10
議案第39号	上越市大島あさひ荘条例の廃止について	施設経営管理室	11
議案第40号	上越市大島大山広場条例の廃止について	施設経営管理室	12
議案第41号	上越市浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみ条例の廃止について	施設経営管理室	13
議案第42号	上越市吉川ゆったりの郷条例の一部改正について	施設経営管理室	14～15
議案第49号	財産の無償譲渡について（小海の池トイレ）	施設経営管理室	16
議案第4号	令和5年度上越市一般会計予算	施設経営管理室ほか	17～110

予算案件における目標の記載について

全ての事業を義務的事業、経常的事業、政策的事業に分類し、下記のように整理して記載しています。

- 1 義務的事業…生活保護など扶助費全般や戸籍事務、国県事業等への負担など
 - ・法定受託事務など法令等の目的・趣旨と事業の目的と合致しており、市民に安定的にサービスを提供することが目標であるため記載しません。
 - ・市の政策としてサービスを付加する場合は記載しています。
- 2 経常的事業…財務会計事務、契約事務、庶務事務、施設の維持管理運営など
 - ・行政運営に必要な財務会計事務などの内部管理事務については、滞りなく実施することが目標であるため記載しません。
 - ・施設の維持管理運営は、適切な維持管理と運営により市民等が安全安心に利用できることが目標であるため記載しません。ただし、施設の付加価値を高めるための取組を実施し、入館者や利用者数、利用件数や実施件数などを設定できる場合は目標を記載しています。
- 3 政策的事業…上記以外の事業
 - ・全ての事業について目標を記載しています。

所管委員会	文教経済常任委員会
関係案件	議案第15号
提出課	産業政策課

歳出科目 (P88~P89)	7款1項2目	商工振興費
----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	補正前	補正額	補正後
中小企業融資支援事業	681,760	△228,440	453,320

主な補正財源		主な経費	
諸収入	△221,060	負担金補助及び交付金	
一般財源	△7,380		△7,380
		貸付金	△221,060

【補正理由】

中小企業者向け制度資金の貸付けに係る預託額の確定及び信用保証協会保証料補助金の支出見込みにあわせて予算を減額するもの

【補正内容】

○信用保証協会保証料補助金 △7,380

項目	補正前	補正額	補正後
負担金補助及び交付金	15,001	△7,380	7,621
信用保証協会保証料補助金	15,001	△7,380	7,621

○審査・預託事務 △221,060

(歳出)

項目	補正前	補正額	補正後
貸付金	633,200	△221,060	412,140
中小企業振興資金預託金	5,000	△3,131	1,869
工場移転特別資金預託金	9,000	△7,029	1,971
経営改善支援資金預託金	600,000	△202,685	397,315
経営力強化資金預託金	18,000	△7,015	10,985
中心市街地活性化資金預託金	1,200	△1,200	0

(歳入)

項目	補正前	補正額	補正後
諸収入	633,200	△221,060	412,140
中小企業振興資金貸付金元金収入	5,000	△3,131	1,869
工場移転特別資金貸付金元金収入	9,000	△7,029	1,971
経営改善支援資金貸付金元金収入	600,000	△202,685	397,315
経営力強化資金貸付金元金収入	18,000	△7,015	10,985
中心市街地活性化資金貸付金元金収入	1,200	△1,200	0

歳出科目 (P88～P89)	7款1項2目	商工振興費
----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	補正前	補正額	補正後
商業振興支援事業	45,946	△5,852	40,094

主な補正財源		主な経費	
一般財源	△5,852	負担金補助及び交付金	△5,852

○地域商業活性化事業補助金 △5,852

【補正理由】

地域商業活性化事業補助金について、利用額が当初の見込みを下回ることから、予算を減額するもの

【補正内容】

項目	補正前	補正額	補正後
負担金補助及び交付金	25,000	△5,852	19,148
地域商業活性化事業補助金	25,000	△5,852	19,148

歳出科目 (P88~P89)	7款1項2目	商工振興費
----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	補正前	補正額	補正後
住宅建築促進事業	849,000	△20,364	828,636

主な補正財源		主な経費	
諸収入	△20,364	貸付金	△20,364

【補正理由】

住宅建築等促進資金の貸付に係る預託額の確定にあわせて予算を減額するもの

【補正内容】

(歳出)

項目	補正前	補正額	補正後
貸付金	849,000	△20,364	828,636
住宅建築等促進資金預託金	849,000	△20,364	828,636

(歳入)

項目	補正前	補正額	補正後
諸収入	849,000	△20,364	828,636
住宅建築等促進資金貸付金元金収入	849,000	△20,364	828,636

提出課	産業立地課
-----	-------

歳出科目 (P88~P91)	7款1項2目	商工振興費
----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	補正前	補正額	補正後
設備投資促進事業	316,085	129,929	446,014

主な補正財源		主な経費	
諸収入	△20,491	負担金補助及び交付金	
一般財源	150,420		150,420
		貸付金	△20,491

【補正理由】

新潟県南部産業団地の分譲に伴い、産業団地等取得補助金を増額するほか、企業設置等奨励金の支出見込み及び工場等設置資金の貸付けに係る預託額の確定に基づき予算を減額するもの

【補正内容】

(歳出)

項目	補正前	補正額	補正後
負担金補助及び交付金	295,445	150,420	445,865
企業設置等奨励金	295,445	△9,375	286,070
産業団地等取得補助金	0	159,795	159,795
貸付金	20,491	△20,491	0
工場等設置資金預託金	20,491	△20,491	0

(歳入)

項目	補正前	補正額	補正後
諸収入	20,491	△20,491	0
工場等設置資金貸付金元金収入	20,491	△20,491	0

○ 新潟県南部産業団地A社

- 1 補助対象面積 9,276.87 m²
- 2 補助金交付見込額 14,040千円（千円未満切捨て）
- 3 補助金算出根拠

区分	取得面積[m ²]	取得費用[円] (A)	補助割合 (B)	補助金額[円] (A×B)
0.5ha以下	5,000.00	61,500,000	10%	6,150,000
0.5ha超～ 1ha以下	4,276.87	52,605,501	15%	7,890,000
合計	9,276.87	114,105,501		14,040,000

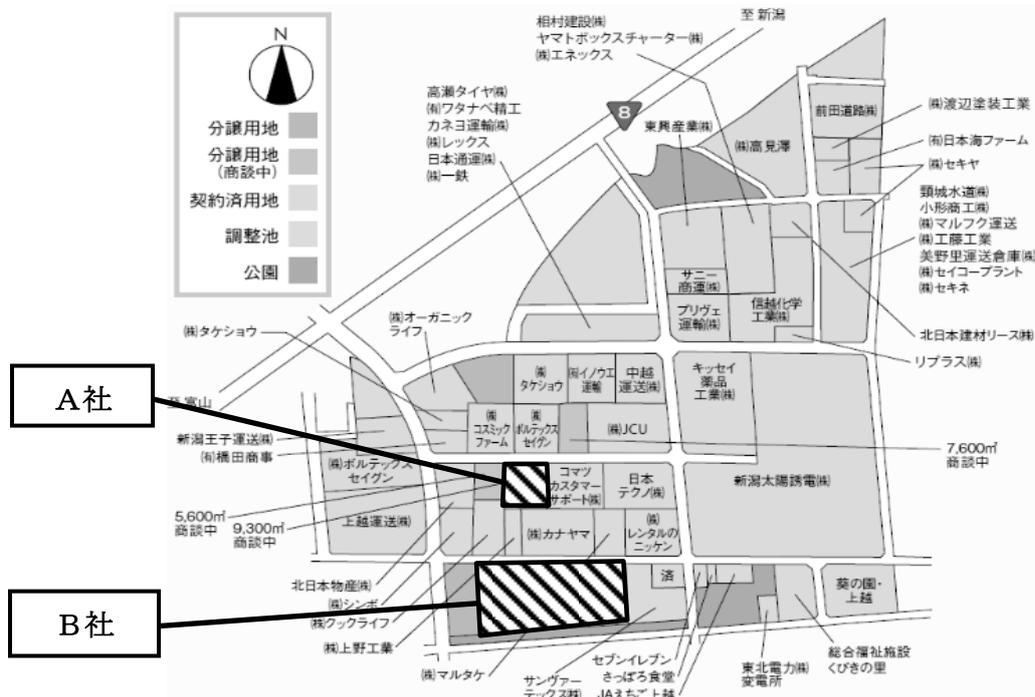
○ 新潟県南部産業団地B社

- 1 補助対象面積 47,000.12 m²
- 2 補助金交付見込額 145,755千円（千円未満切捨て）
- 3 補助金算出根拠

区分	取得面積[m ²]	取得費用[円] (A)	補助割合 (B)	補助金額[円] (A×B)
0.5ha以下	5,000.00	61,500,000	15%	9,225,000
0.5ha超～ 1ha以下	5,000.00	61,500,000	20%	12,300,000
1ha超～ 3ha以下	20,000.00	246,000,000	25%	61,500,000
3ha超	17,000.12	209,101,476	30%	62,730,000
合計	47,000.12	578,101,476		145,755,000

※南部産業団地で製造業が立地する場合、補助割合に5%上乘せ

【位置図】 分譲団地名：新潟県南部産業団地（上越市頸城区上吉地内）



提出課	産業政策課
-----	-------

歳出科目 (P90～P91)	7款1項2目	商工振興費
----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	補正前	補正額	補正後
地域中核企業成長促進支援事業	55,903	△11,130	44,773

主な補正財源		主な経費	
国庫支出金	△5,565	負担金補助及び交付金	
一般財源	△5,565		△11,130

【補正理由】

事業の決算見込みにあわせて予算を減額するもの

【補正内容】

項目	補正前	補正額	補正後
負担金補助及び交付金	50,000	△11,130	38,870
提案型モデル支援事業補助金	50,000	△11,130	38,870

提出課	観光交流推進課
-----	---------

歳出科目 (P90~P91)	7款1項3目	観光交流費
----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	補正前	補正額	補正後
観光企画費	58,993	39,866	98,859

主な補正財源		主な経費	
県支出金	19,933	委託料	39,866
一般財源	19,933		

【補正理由】

観光インフォメーション利用環境整備事業について、国のデジタル田園都市国家構想交付金の内示を受ける見込みとなったことから、観光情報の発信やサービスの提供、来訪者の属性・行動特性等の収集を行うアプリの導入に要する経費を増額するもの

【補正内容】

(歳出)

項目	補正前	補正額	補正後
委託料	31,188	39,866	71,054
観光アプリケーション作成等業務委託料	0	39,866	39,866

(歳入)

項目	補正前	補正額	補正後
県支出金	0	19,933	19,933
デジタル田園都市国家構想交付金	0	19,933	19,933

事業内容

[新]○観光アプリケーション作成等業務委託

- ・イベントアプリを作成し、アプリを通じたサービスの提供や情報発信を行い、年間を通じた誘客や市内回遊、消費拡大を促す。
- ・アプリケーションを通じて個人の属性情報等を収集・分析し、ニーズ、トレンドを踏まえたイベント内容の改善、プロモーションに活用する。

提出課	施設経営管理室
-----	---------

歳出科目 (P90～P91)	7款1項3目	観光交流費
----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	補正前	補正額	補正後
観光施設等管理事業	540,064	31,272	571,336

主な補正財源		主な経費	
市債	△4,100	修繕料	△4,546
一般財源	35,372	委託料	35,818

○安塚雪だるま高原管理運営費 35,818

【補正理由】

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用料金収入の減収により、収支不足が見込まれる指定管理施設について、年間の収支見込みに基づき指定管理料を見直し、増額するもの

【補正内容】

(歳出)

指定管理運営業務委託料

項目	補正前	補正額	補正後
委託料	30,666	35,818	66,484
施設管理運営業務委託料	30,359	35,818	66,177

対象施設

施設名	補正額	指定管理者
安塚雪だるま高原 (キューピットバレイスキー場他2施設)	35,818	株式会社スマイルリゾート

※ 令和4年度収支実績の確定後、指定管理料を精算する。

○大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館管理運営費 △4,546

【補正理由】

屋上防水改修工事の入札差金が生じたことから減額するもの

【補正内容】

(歳出)

項目	補正前	補正額	補正後
需用費	24,274	△4,546	19,728
営繕修繕料	24,274	△4,546	19,728

(歳入)

項目	補正前	補正額	補正後
市債	18,600	△4,100	14,500
観光施設等管理事業	8,300	△4,100	4,200

歳出科目 (P90～P91)	7款1項5目	観光物産センター費
----------------	--------	-----------

単位：千円

事業名	補正前	補正額	補正後
観光物産センター管理運営費	45,492	△21,014	24,478

主な補正財源		主な経費	
一般財源	△21,014	工事請負費	△21,014

【補正理由】

非常用発電機更新工事について、令和5年4月から施設を休館することに伴い、当該工事の実施を見送ることから減額するもの

【補正内容】

(歳出)

項目	補正前	補正額	補正後
工事請負費	21,014	△21,014	0
施設整備工事	21,014	△21,014	0

所 管 委 員 会	文教経済常任委員会
関 係 案 件	議案第 29 号
提 出 課	産業政策課

上越市女性サポートセンター条例の一部改正について

1 改正理由

女性サポートセンターの機能を上越市市民プラザに移転することに伴い、施設の位置を改めるもの

2 改正内容

女性サポートセンターの位置を「上越市土橋 2 5 5 4 番地」に改める。（第 2 条関係）

3 施行期日

令和 5 年 4 月 1 日

4 上越市女性サポートセンター条例改正案新旧対照表

（下線部分が改正箇所）

改 正 案		改 正 前	
(名称及び位置) 第 2 条 略		(名称及び位置) 第 2 条 略	
名称	位置	名称	位置
上越市女性サポートセンター	<u>上越市土橋 2 5 5 4 番地</u>	上越市女性サポートセンター	<u>上越市本城町 8 番 1 号</u>

所管委員会	文教経済常任委員会
関係案件	議案第39号
提出課	施設経営管理室

上越市大島あさひ荘条例の廃止について

1 廃止理由

平成27年度から休止しており、利用実態や老朽化の状況を踏まえ、供用を廃止するもの

2 施行期日

令和5年4月1日

<参考>施設の概要

施設名称	大島あさひ荘
所在地	上越市大島区田麦 2807 番地 90
施設	(1) 浴室 (2) 食堂 (3) 大広間 (4) 和室 (5) 林産物等直売所 (6) その他附属施設
構造	(1) 本館（食堂、大広間、和室、林産物等直売所） 鉄筋コンクリート造 2 階建て (2) 温泉棟（浴室） 鉄筋コンクリート造 1 階建て
延床面積	(1) 本館：1,508.20 m ² (2) 温泉棟：394.53 m ²
設置年度	昭和 57 年度
設置目的	市民の憩いの場及び余暇活動の場を提供し、生活文化の向上、心身の健康増進及び地域間の交流を図るとともに、地域の林産物の販路拡大を図るため、多目的施設を設置する。

所管委員会	文教経済常任委員会
関係案件	議案第40号
提出課	施設経営管理室

上越市大島大山広場条例の廃止について

1 廃止理由

平成24年度から休止しており、利用実態や老朽化の状況を踏まえ、供用を廃止するもの

2 施行期日

令和5年4月1日

<参考>施設の概要

施設名称	大島大山広場
所在地	上越市大島区田麦 3781 番地 9
施設	(1) テニスコート (2) 運動広場 (3) 広場 (4) 民俗資料展示室 (5) その他附属施設
構造	(1) テニスコート 2 面 (2) 運動広場 1 面 (3) 広場 1 園 (4) 民族資料展示室 1 棟 軽量鉄骨造 2 階建て
延床面積	民俗資料展示室：251.40 m ²
設置年度	昭和 60 年度
設置目的	市民の健康増進及び生活文化の向上に寄与するため、広場を設置する。

所管委員会	文教経済常任委員会
関係案件	議案第41号
提出課	施設経営管理室

上越市浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみ条例の廃止について

1 廃止理由

平成29年度から休止しており、利用実態や老朽化の状況を踏まえ、供用を廃止するもの

2 施行期日

令和5年4月1日

<参考>施設の概要

施設名称	浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみ
所在地	上越市浦川原区小谷島 1217 番地 1
施設	(1) センターハウス（本館、新館） (2) 特産品加工施設 (3) バーベキューガーデン (4) 広場 (5) その他附属施設
構造	(1) 本館：木造一部鉄筋コンクリート造地上1階地下1階建て (2) 新館：木造2階建て
延床面積	(1) 本館：1,260.0 m ² (2) 新館：352.5 m ²
設置年度	平成4年度
設置目的	市民の交流機会の増加及び健康の増進を図るとともに、観光の振興その他地域振興を図るため、日帰り温泉保養施設を設置する。

所 管 委 員 会	文教経済常任委員会
関 係 案 件	議案第 4 2 号
提 出 課	施設経営管理室

上越市吉川ゆったりの郷条例の一部改正について

1 改正理由

酵素風呂について、令和 2 年度から休止しており、利用実態や老朽化の状況を踏まえ、供用を廃止するもの

2 改正内容

酵素風呂の供用廃止に伴い、関連規定を削除する。(第 3 条、第 1 4 条、別表第 1、別表第 2 関係)

3 施行期日

令和 5 年 4 月 1 日

4 上越市吉川ゆったりの郷条例改正案新旧対照表

(下線部分及び太枠部分が改正箇所)

改 正 案		改 正 前																									
(施設) 第 3 条 略 (1) 略 (2)~(9) 略 (利用料金等) 第 1 4 条 略 2 略 3 指定管理者は、利用者の利便に資するため、市長の承認を得て浴場_____の回数利用券を発行することができる。 4 略 別表第 1 (第 1 4 条関係)		(施設) 第 3 条 略 (1) 略 (2) <u>酵素風呂</u> (3)~(10) 略 (利用料金等) 第 1 4 条 略 2 略 3 指定管理者は、利用者の利便に資するため、市長の承認を得て浴場 <u>及び酵素風呂</u> の回数利用券を発行することができる。 4 略 別表第 1 (第 1 4 条関係)																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>単位</th> <th>上限額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">浴場</td> <td>中学生以上</td> <td>800 円</td> <td rowspan="2">・3 歳未満の乳幼児は、無料とする。</td> </tr> <tr> <td>小学生以下</td> <td>350 円</td> </tr> </tbody> </table>		区分	単位	上限額	摘要	浴場	中学生以上	800 円	・3 歳未満の乳幼児は、無料とする。	小学生以下	350 円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>単位</th> <th>上限額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">浴場</td> <td>中学生以上</td> <td>800 円</td> <td rowspan="2">・3 歳未満の乳幼児は、無料とする。</td> </tr> <tr> <td>小学生以下</td> <td>350 円</td> </tr> <tr> <td><u>酵素風呂</u></td> <td>中学生以上</td> <td>2,200 円</td> <td>・浴場の利用料金</td> </tr> </tbody> </table>		区分	単位	上限額	摘要	浴場	中学生以上	800 円	・3 歳未満の乳幼児は、無料とする。	小学生以下	350 円	<u>酵素風呂</u>	中学生以上	2,200 円	・浴場の利用料金
区分	単位	上限額	摘要																								
浴場	中学生以上	800 円	・3 歳未満の乳幼児は、無料とする。																								
	小学生以下	350 円																									
区分	単位	上限額	摘要																								
浴場	中学生以上	800 円	・3 歳未満の乳幼児は、無料とする。																								
	小学生以下	350 円																									
<u>酵素風呂</u>	中学生以上	2,200 円	・浴場の利用料金																								

改 正 案					改 正 前						
(削除)					(削除)						
和室	21 畳 の室	1 室 2 時 間	5,240 円		上 小学 生以 下		1,100 円		を含む。		
	15 畳 の室	まで	3,150 円				21 畳 の室			1 室 2 時 間	5,240 円
	12 畳 以 下 の室		2,100 円				15 畳 の室			まで	3,150 円
(略)					(略)						
備考 略					備考 略						
別表第 2 (第 1 4 条関係)					別表第 2 (第 1 4 条関係)						
区分		単位	上限額	摘要	区分		単位	上限額	摘要		
浴場	中学 生以 上	12 枚 つづ り	8,000 円		浴場	中学 生以 上	12 枚 つづ り	8,000 円			
	小学 生以 下		3,500 円			小学 生以 下		3,500 円			
(削除)					(削除)						
備考 略					備考 略						
区分		単位	上限額	摘要	区分		単位	上限額	摘要		
酵素 風呂	中学 生以 上	7 枚つ づり	11,000 円	・酵素風呂の回数 利用券に よる浴場 の利用 は、可能 とする。	酵素 風呂	中学 生以 上	7 枚つ づり	11,000 円	・酵素風呂の回数 利用券に よる浴場 の利用 は、可能 とする。		
	小学 生以 下		5,500 円			小学 生以 下		5,500 円			

所 管 委 員 会	文教経済常任委員会
関 係 案 件	議案第49号
提 出 課	施設経営管理室

財産の無償譲渡について

1 譲渡財産の概要

- ・名 称：小海の池トイレ
- ・所 在 地：上越市大島区板山 752 番地 4
- ・種 類：トイレ
- ・区 分：建物 1 棟 1 階男子トイレ 小 2 洋式 1 女子トイレ 洋式 1 2 階物置
- ・構 造：木造 2 階建て 延床面積 41.40 m²
- ・台帳価格：1,965,015 円
- ・建築年月：平成 9 年 11 月

2 譲渡先

板山町内会

3 無償譲渡の理由

休止状態となっている当該施設について、板山町内会から「交流事業用の施設として活用し、地域振興につなげたい」との意向が示されたため

4 譲渡予定日

令和 5 年 4 月 1 日

5 譲渡の条件

- ・現状のまま譲渡する。譲渡後 5 年間は、施設を処分しないこと。
- ・建物は町内会が行う交流イベント等（町内会が構成員・支援団体となるイベント等を含む）に使用するものとする。

【施設位置図】



所 管 委 員 会	文教経済常任委員会
関 係 案 件	議案第4号
提 出 課	施設経営管理室

歳出科目 (P136～P137)	2款1項6目	財産管理費 (令和4年度は7款1項1目商工総務費)
------------------	--------	------------------------------

単位：千円

事 業 名	本 年 度	前 年 度	比 較
第三セクター経営改善事業	527	0	527

主 な 財 源		主 な 経 費	
一般財源	527	報償費	55
		委託料	363
		旅費	34
		負担金補助及び交付金	58
		需用費	17

【目的】

第三セクター等の抜本的改革を含む経営健全化を推進し、市の将来的な財政負担や人的関与を軽減する。

【5年度目標】

第三セクター等の方向性の検討結果に基づく取組や、経営健全化に向けた取組を推進する。

【実施内容】

- ・第三セクター等に対する関与方針に基づき、第三セクター等の方向性について再検討し、検討結果に基づく取組を推進する。
- ・第三セクター等評価委員会を開催し、専門的見地から経営状況の分析・評価を受け、経営改善に向けた取組を進める。
- ・第三セクターによる国の助成金の不正受給事案を受け、市による管理・監督体制の強化に向けた検討を行う。

※令和5年度は、7款1項1目の第三セクター経営改善事業から移行

提出課	産業政策課
-----	-------

歳出科目 (P146～P149)	2款1項20目	男女共同参画費 (令和4年度は5款1項1目労働諸費)
------------------	---------	-------------------------------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
男女共同参画事業 (うち、令和4年度の労働諸費分)	897	0	897

主な財源		主な経費	
一般財源	897	報償費	55
		旅費	24
		需用費	768
		委託料	50

○ワーク・ライフ・バランス推進事業 897

【目的】

働く人の個性や価値観に応じたゆとりある働き方や子育てと仕事の両立を可能とするワーク・ライフ・バランスについて、市内企業等に対する意識啓発により、職場環境の改善を図る。

【5年度目標】

- ・ハッピー・パートナー企業又はえるぼし認定の新規登録企業等数実績及び目標

(単位：社)

区分	元年度	2年度	3年度	4年度 (見込)	5年度 (目標)
新規登録企業数	3	9	2	2	10

- ・女性サポートセンター事業におけるセミナーの延べ参加者数実績及び目標 (単位：人)

区分	元年度	2年度	3年度	4年度 (見込)	5年度 (目標)
参加者数	50	28	33	38	60

【実施内容】

- ・女性サポートセンター運営事業 (80)
 - 市内企業等に対する意識啓発のためのセミナーの開催
 - ワーク・ライフ・バランスの推進や女性の能力発揮に向けたセミナーの開催
- ・玄関ポーチ修繕 (767)
- ・樹木選定業務委託 (50)

提出課	観光交流推進課
-----	---------

歳出科目 (P152～P153)	2款1項25目	多文化共生推進費 (令和4年度は7款1項3目観光交流費)
------------------	---------	---------------------------------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
国際友好交流促進事業	5,506	0	5,506

主な財源		主な経費	
一般財源	5,506	報償費	240
		旅費	120
		需用費	380
		役務費	309
		委託料	4,404
		使用料及び賃借料	53

【目的】

海外の姉妹・友好都市との幅広い分野での相互交流により友好親善を促進するとともに、地域社会の活性化を図る。

【5年度目標】

オーストラリア・カウラ市との友好都市提携20周年記念事業を実施するほか、韓国・浦項市の浦項市立交響楽団の受入れを通じて、市民の国際感覚を養うとともに諸外国への理解を深める。

【実施内容】

- (1) オーストラリア・カウラ市との友好都市提携20周年記念事業 (4)
 - ・コロナ禍の状況や時差が少ないことを踏まえ、オンラインを活用した都市の紹介やオンラインゲームを通じた児童交流などを通して、互いの都市を知り理解を深める。
- (2) 韓国・浦項市からの浦項市立交響楽団の受入れ (433)
 - ・上越市民吹奏楽団のクリスマスコンサートに合わせて、浦項市立交響楽団を招聘して行うジョイントコンサートを12月に開催する。
- (3) オーストラリア・カウラ市及びダーウィン市への表敬訪問 (4,675)
 - ・友好都市提携20年の節目にカウラ市を表敬訪問し、捕虜収容所跡地での献花に合わせ、当市と友好関係の構築を希望しているダーウィン市を訪問し、交流の在り方を協議する。
- (4) その他事業関係費 (394)

提出課	産業政策課
-----	-------

歳出科目 (P 230～P 231)	5 款 1 項 1 目	労働諸費
--------------------	-------------	------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
勤労者福祉事業	20,802	44,969	△24,167

主な財源		主な経費	
諸収入	19,503	負担金補助及び交付金	
一般財源	1,299		1,299
		貸付金	19,503

市内中小企業等で働く勤労者の福祉の向上を図り、生活の安定化、地域への定着を促進する。

○勤労者福祉支援事業負担金及び補助金 1,299

【目的】

勤労者の交流や学習活動への支援を通じて、勤労者の労働意欲の向上と、安心して働くことができる環境づくりを図る。

【5年度目標】

勤労者の交流や学習活動への助成を通じて、安心して働くことができる職場環境の形成に向けた取組を支援する。

【実施内容】

- ・新しい社会人を励ますつどい負担金 (50)
市内企業等に就職した新規学卒者等を対象に、社会人としての自覚を促す。
- ・労働団体の活動費への助成 (1,249)
連合新潟上越地域協議会及び上越地区労働組合総連合が行うメーデー、労働講座、研修会等の事業費の一部を補助する。

○勤労者福祉事業貸付金 19,503

【目的】

貸付残高に対する預託、償還等の事務を適切に行う。

【実施内容】

- ・勤労者住宅建築資金低利貸付預託金
貸付期間：平成10年4月1日～平成17年3月31日
償還期間：最長20年 預託期間：令和7年度まで新潟県労働金庫へ預託

年度	元年度	2年度	3年度	4年度
預託件数(件)	326	270	211	142
預託額	201,603	132,682	80,679	43,418

歳出科目 (P230～P231)	5款1項1目	労働諸費
------------------	--------	------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
技能労働者育成事業	13,962	8,638	5,324

主な財源		主な経費	
財産収入	35	旅費	11
諸収入	71	需用費	1,481
一般財源	13,856	委託料	2,796
		工事請負費	5,123
		負担金補助及び交付金	
			4,551

技能産業の持続と発展に向け、市内中小企業等における技能労働者や事業継続のための担い手の育成を推進する。

○上越人材ハイスクール施設管理運営事業 13,396

【目的】

中小企業等で働く技能労働者に職業訓練の場を提供することにより、技術・技能の伝承と向上を図る。

【5年度目標】

上越人材ハイスクールにおける職業訓練実績及び目標 (単位：人)

区分	元年度	2年度	3年度	4年度 (見込)	5年度 (目標)
受講者数	1,119	1,180	1,106	778	1,180

【実施内容】

- ・上越人材ハイスクール施設管理運営業務委託料 (2,796)
指定管理者：職業訓練法人上越職業訓練協会
指定期間：平成31年4月1日～令和6年3月31日
- ・職業訓練事業補助金 (3,996)
厚生労働省令で定める基準に適合し、都道府県知事の認定を受けて行われる職業訓練に要する経費の一部を補助する。(国：2/6、県：2/6、市：1/6)
- ・工事請負費 (5,123)
- ・営繕修繕料 (1,481)

○にいがた・技のにぎわいフェスタ実行委員会負担金 416

【目的】

次代を担う子どもたちに、優れた技術・技能を体験する機会を提供することにより、技術・技能の重要性とその魅力を伝えるとともに、技術・技能の伝承や技術者の育成を図る。

【5年度目標】

将来の担い手となる小・中・高校生等が卓越したものづくり技術を身近に触れる機会を提供する。

【実施内容】

- ・にいがた・技のにぎわいフェスタ実行委員会負担金 (405)
「にいがた・技のにぎわいフェスタ」を開催し、技術・技能の重要性とその魅力を発信する。

開催地：新潟市（新潟県が主催で上越市、長岡市、新潟市の3市で順に開催）

※令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、中止

・旅費（11）

○技能労働者育成支援事業 150

【目的】

次代を担う若年技能労働者の技術・技能の向上を支援することにより、地域全体の技術力の向上を図る。

【5年度目標】

熟練した技術・技能を持つ労働者の育成につながるよう、技能五輪全国大会等に参加する中小企業等及び技能労働者の経費負担を軽減する。

【実施内容】

・技能五輪全国大会等に出場する選手の強化訓練費の一部を補助する。

補助実績

(単位：人)

区 分		元年度	2年度	3年度	4年度 (見込)
参加者数	技能五輪全国大会	0	0	2	0
	技能グランプリ	開催なし	2	開催なし	開催なし

歳出科目 (P230～P233)	5款1項1目	労働諸費
------------------	--------	------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
雇用対策事業	53,546	33,511	20,035

主な財源		主な経費	
県支出金	26,485	一般財源	22,701
繰入金	2,000	報償費	1,640
諸収入	2,360	需用費	979
		委託料	8,654
		使用料及び賃借料	2,334
		負担金補助及び交付金	
			39,638

若者やU・I・Jターン者の市内企業等への就労を支援するとともに、障害のある人、女性などの雇用の促進や働き方改革を推進し、誰もが就労・定住しやすい環境を整備する。

○若者の自立支援事業 5,474

【目的】

一人一人の状況に応じた就労支援を行うことにより、若年無業者等の職業的自立を支援する。

【5年度目標】

上越地域若者サポートステーションにおける進路決定実績及び目標 (単位：人)

区分	元年度	2年度	3年度	4年度 (見込)	5年度 (目標)
進路決定者数	44	62	107	82	100

【実施内容】

- ・若者自立就労支援委託料 (5,344)
臨床心理士によるカウンセリング、若者及び保護者に対する就労に向けた出張相談会等の開催、相談業務、職場体験等の拡充
- ・若年者自立支援ネットワーク会議の開催 (2)
公共職業安定所や商工会議所・商工会、教育機関、妙高市、糸魚川市等、若者の自立支援に取り組む関係機関の情報共有や意見交換を行うネットワーク会議を開催し、上越地域若者サポートステーションの事業計画、関係機関相互の連携の在り方や活動について協議する。
- ・上越地域若者サポートステーション光熱水費等 (128)

○若者しごと館上越サテライト施設管理運営費 2,258

【目的】

求職者が相談しやすい環境づくりにより、求職者の早期就労につなげる。

【5年度目標】

適切な施設の維持管理を行い、来館者が職業相談やカウンセリングなどを受けやすい環境を整える。

【実施内容】

- ・若年求職者を対象に、職業相談から職業紹介までをワンストップサービスで提供する若者しごと館上越サテライトの管理運営を行う。

○上越雇用促進協議会負担金 300

【目的】

上越雇用促進協議会の雇用対策事業を支援することにより、労働力の定着による地域経済の維持・発展を図る。

【5年度目標】

大学の卒業予定者等を対象にした合同企業説明会や就職を希望する高校2年生を対象に就職セミナーを開催するなど、就労について考える機会を提供するとともに、学生の就業意識を啓発し、市内企業等への就労促進を図る。

【実施内容】

- ・大学の卒業予定者等を対象にした合同企業説明会開催などの事業運営負担金（100）
- ・高校2年生を対象にした就職セミナー負担金（200）

○障害者雇用対策事業 250

【目的】

就労に有利な資格の取得等を支援し、就労機会の拡充を図る。

【5年度目標】

障害者雇用義務のある民間企業（上越公共職業安定所管内、従業員43.5人以上）における実雇用率：2.3%以上を継続する。

【実施内容】

- ・障害者資格取得支援補助金（240）
就職に有効な資格を取得する際の受験料及び旅費の全部又は一部を補助する。
上限額：1万5千円
- ・障害者雇用啓発チラシの作成（10）

○インターンシップ促進事業 1,931

【目的】

学校や企業と連携し、若者の就業意識を啓発するとともに、インターンシップの受入れに積極的に取り組む市内企業等を支援することにより、市内企業等への若者の就職を促進する。

【5年度目標】

- ・インターンシップ登録企業等における受入企業等実績及び目標 (単位：社)

区 分	元年度	2年度	3年度	4年度 (見込)	5年度 (目標)
受入企業数	48	22	13	11	20

- ・インターンシップ登録企業等における受入人数実績及び目標 (単位：人)

区 分	元年度	2年度	3年度	4年度 (見込)	5年度 (目標)
受入人数	254	103	77	51	100

- ・インターンシップの促進につながる各種情報を専用ホームページやSNSを通じて発信する。

【実施内容】

- ・パンフレット印刷製本費（440）
- ・パンフレット郵送費（111）
- ・企業向けインターンシップ研修会（142）
- ・ホームページ保守・管理委託料（258）
- ・学校及び企業等への訪問旅費等（50）

[充]・上越市インターンシップ受入促進事業助成金（930）

市内企業におけるインターンシップの受入れを更に促すため、企業がインターンシップの受入れに際し、参加学生の負担軽減のために支援した経費の補助を拡充する。

対象要件 市内企業が大学生等を対象に実施する 2 日以上インターンシップにおいて、企業等が学生の負担軽減のために支援を行っていること。

助成額 支援額の 1/2 以内（1,000 円未満切り捨て）（単位：円）

区 分		実施期間ごとの助成上限額			
		2 日	3 日	4 日	5 日以上
大学等の 所在地	市内	4,000	6,000	8,000	10,000
	県内	16,000	24,000	32,000	40,000
	県外	30,000	45,000	60,000	75,000

○市内企業雇用促進事業 42,711

【目的】

若者及びU・I・J ターン者の市内企業等への就労を促し、定住しやすい環境を整え、労働力の確保することにより、市内経済の安定を図る。

【5 年度目標】

・就労促進家賃補助金の新規申請件数実績及び目標（単位：件）

区 分	元年度	2 年度	3 年度	4 年度 (見込)	5 年度 (目標)
申請件数	22	18	41	60	40

・移住・就業支援金の申請件数実績及び目標（単位：件）

区 分	元年度	2 年度	3 年度	4 年度 (見込)	5 年度 (目標)
申請件数	0	0	12	18	18

【実施内容】

・就労促進家賃補助金（6,612）

市外からの転入者又は市内在住の 50 歳未満で初めて就労する人が、市内の中小企業等に就職し、アパート等を賃借した場合、家賃の一部を補助する。

医療・福祉及び建設業の分野に就労した人には上乗せして補助する。

補助額 月額家賃の 1/2 1 年間

上限額 医療・福祉及び建設業の分野：2 万円（月額）

上記以外の分野：1 万円（月額）

・移住・就業支援金（16,000）

東京圏から市内へ移住し、県内の企業等へ就業した人、起業した人等の移住に伴う経済的負担を軽減するための支援金を支給する。

支給額 単身での移住：60 万円

世帯での移住：100 万円

[充]・移住・就業支援金の加算金（15,500）

移住・就業支援金の対象者のうち、若者世帯については、市独自の加算を行うとともに、国の子育て世帯への拡充にあわせ支援金を増額する。

支給額 若者加算：一律 10 万円加算

本人が 40 歳未満又は世帯員に 40 歳未満の人がいる世帯

子育て加算：18 歳未満の子の人数×100 万円

世帯移住の場合で、18 歳未満の子がいる世帯

- ・ 高校生の市内企業見学会の開催 (26)
市内高等学校、上越雇用促進協議会等と連携して、高校生や高校の進路指導担当教員等が参加する企業見学会や企業説明会を行うことにより、市内企業への理解を深め、就労につなげる。
- ・ 上越市内企業を知る機会 (27)
大学生等を対象に会社説明会を開催することで、市内企業への理解を深め、就労につなげる。
- ・ ワーク・ライフ・バランス推進企業利子補給補助金 (56)
県のハッピー・パートナー企業への登録又は国のえるぼし認定を受け、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む市内中小企業等の資金調達に対する支援を行う。
補助対象融資限度額：1,000万円
補給率：借入利子の1/2(上限10万円)、補給期間：1年間

[新]・IT人材の育成・確保 (4,490)

IT人材の育成を目的に、市内のIT系企業等と連携し、市内高等学校を中心として、IT分野に興味・関心を持つきっかけづくりや学びの場の提供、学びたい学生に対する支援を行う。また、IT企業による合同会社説明会を開催し、市内IT企業における人材確保を支援する。

(1)出張IT説明会 (200)

市内高等学校に市内IT企業が出張し、身近なIT技術の利活用から業務内容や必要なスキル、勉強方法などの講話を行う。

(2)IT講座 (720)

IT分野に関し興味・関心を持っている高校生等に対し、市内コワーキングスペースなどで、IT企業による講座を行う。

(3)部活動への支援 (1,440)

プログラミングコンテストへの参加等を目指し活動する高等学校の部活動等に対し、講師を派遣し、学びとスキル向上を図る。

(4)プログラミング学習会 (1,890)

高校生等を対象にプログラミングコンテストへの参加、入賞に向けた学習会の開催によりプログラミングスキルの向上を図る。

(5)IT企業合同会社説明会 (240)

市内のIT企業と連携し、IT・デジタル人材の市内就労を促進

○若手社員定着支援事業 622

【目的】

各種研修会を開催し、市内企業等の定着率の向上を図る。

【5年度目標】

職場におけるコミュニケーションスキルやリーダーシップ等について学ぶ新入社員や中堅社員向けの研修会を開催する。

【実施内容】

- ・ 新入社員研修実績及び目標 (2日) (単位：人)

区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (目標)
延べ参加者数	68	中止	37	100	80

※新型コロナウイルス感染症の影響に伴い3年度は1日の開催

- 中堅社員研修実績及び目標（2日） （単位：人）

区 分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 （目標）
延べ参加者数	70	24	36	36	60

- 管理職研修実績及び目標（2日）（隔年実施） （単位：人）

区 分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 （目標）
延べ参加者数	—	10	—	28	—

- 内定者研修実績及び目標（1日） （単位：人）

区 分	元年度	2年度	3年度	4年度 （見込）	5年度 （目標）
延べ参加者数	中止	中止	14	40	40

歳出科目 (P 232～P 233)	5 款 1 項 1 目	労働諸費
--------------------	-------------	------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
勤労者福祉施設管理運営費	22,458	17,968	4,490

主な財源		主な経費	
財産収入	132	一般財源	17,659
諸収入	67	需用費	434
市債	4,600	役務費	128
		委託料	21,896

市民の勤労意欲の向上に向け、文化・教養・研修・スポーツに親しむ場を提供できるよう施設の適切な管理・運営を行う。

○ワークパル上越施設管理運営 21,517

【目的】

各種講座を開催するとともに、グループやサークル活動の場を提供することにより、勤労者の健康維持、余暇活動の充実を図る。

【5年度目標】

利用者数実績及び目標

(単位：人)

区分	元年度	2年度	3年度	4年度 (見込)	5年度 (目標)
講座受講者数	28,489	3,178	9,144	9,388	10,000
貸館等利用者数	67,328	34,281	41,177	42,612	45,000
利用者数	95,817	37,459	50,321	52,000	55,000

【実施内容】

- ・施設管理運営業務委託料 (15,674)
指定管理者：公益財団法人上越勤労者福祉サービスセンター
指定期間：平成31年4月1日～令和6年3月31日
開講講座：健康美体操、ヨガ、英会話、料理教室等の講座を予定
- ・営繕修繕料 (321)
- ・建築物定期点検業務 (385)
- ・外壁改修工事設計業務委託 (5,137)

○三の輪台いこいの広場管理運営 941

【目的】

市民が自然環境の中で休養し、野外活動を行う場を提供することにより、健康増進を図る。

【5年度目標】

広場を安全・安心な野外活動施設として適切に管理を行うとともに、有効活用を図る。

【実施内容】

- ・維持管理業務の委託 (700)
業務内容：広場清掃、貯水槽清掃、除草業務委託等
施設概要：多目的広場、東屋、野外トイレ
- ・その他維持管理経費 (241)

提出課	観光交流推進課
-----	---------

歳出科目 (P254～P257)	7款1項1目	商工総務費
------------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
露店市場運営事業	17,383	5,845	11,538

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	2,899	報酬	405
諸収入	5,111	報償費	606
一般財源	9,373	需用費	498
		役務費	623
		委託料	14,048
		使用料及び賃借料	1,163

【目的】

百年以上続く生活文化である朝市の開設、観桜会などのイベントにおける移動露店の開設により、市民及び来訪者の交流、市内経済の活性化を目指す。

【5年度目標】

朝市1回当たりの平均出店数の実績及び目標 (単位：店)

	元年度	2年度	3年度	4年度 (見込)	5年度 (目標)
1回当たりの 平均出店数	131	131	139	121	121

【実施内容】

(1) 朝市の開設

(合併前の上越市) 二・七の市、三・八の市、四・九の市場
(柿崎区) 一の日市

- ・無料駐車券の交付

高田地区の朝市の利用を促し、迷惑駐車を解消するため、朝市の利用者に本町商店街駐車場の30分無料券を交付する。

- ・出店者の募集

市内外主要施設にチラシを設置、上越観光N a v iの朝市特設ページへの掲載、広報上越への掲載

- ・小学生の出店

市内小学校で育てた農産物等を小学生が朝市で販売する取組について、上越観光N a v iやSNSを活用して発信する。

- ・上越市露店市場運営委員会、朝市活性化検討会の開催

朝市の管理運営や活性化等について協議する。

- ・入込調査の実施

- ・イベントの開催

パンまつり、スイーツまつりなどのイベントを開催する。

(2) 移動露店の開設

(合併前の上越市) 高田城址公園観桜会、八坂神社祭礼、上越まつり、謙信公祭
(柿崎区) お引上げ商工まつり、納涼花火大会、坂田池観桜会

- ・債務負担行為の設定

第 99 回高田城址公園観桜会の会期を令和 6 年 3 月 29 日（金）～4 月 14 日（日）（予定）としていることから、債務負担行為を設定するもの

- ・露店市場管理委託料全体額 8,437

- ・年度別事業費

	事業費
令和 5 年度	3,304
令和 6 年度 (債務負担行為設定額)	5,133
合計	8,437

※令和 5 年度のうち、一部の経費は 7 款 1 項 3 目のイベント推進費から移行

提出課	産業政策課
-----	-------

歳出科目 (P 256～P 257)	7 款 1 項 1 目	商工総務費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
産業振興総務管理費	125,010	64,522	60,488

主な財源		主な経費	
市債	21,300	報酬	1,836
一般財源	103,710	職員手当等	293
		共済費	403
		需用費	214
		負担金補助及び交付金	117,813

上越商工会議所及び市内商工会が行う経営改善普及事業を始めとする各種事業を支援するほか、創業しやすい環境の整備、円滑な事業承継に向けた支援等に取り組み、商工業の振興と中小企業者の経営の安定化を図る。

○中小企業振興対策費補助金 53,539

【目的】

上越商工会議所及び市内商工会が行う経営改善普及事業を始めとした各種事業を支援することにより、商工業の振興と中小企業者の経営の安定化を図る。

【5年度目標】

上越商工会議所や市内商工会との連携を強化し、持続可能な中小企業者の支援体制構築を図る。

【実施内容】

上越商工会議所や市内商工会が行う商工業の振興や金融、税務対策及び地域振興に関する調査研究、情報収集、経営改善に係る相談業務等に対して補助を行う。

- ・上越商工会議所 (8,213)
- ・市内商工会 (45,326)

○創業の促進 16,966

【目的】

創業を促進することにより、地域の雇用とイノベーションを創出し、産業の新陳代謝を進め、地域経済の活性化を図る。

【5年度目標】

創業者 72 人※

※産業競争力強化法に基づく創業支援等事業計画（令和元年度～令和5年度）の目標

・創業者実績 (単位：人)

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
実績	84	77	102	—

【実施内容】

上越商工会議所、市内金融機関6機関、上越市で構成する上越市創業支援ネットワークが中心となり、若者や女性を含む新規創業者・第二創業者に対し、総合的な支援を行う。

- ・創業セミナー開催費等 (198)

[新]・女性起業家創出事業業務委託料(3,300)

女性の多様な働く場づくりを通じて女性の活躍推進や転出超過の状況の改善を図るため、情報発信、相談窓口の開設、イベント開催等に取り組み、女性の創業を促進する(3か年業務の1年目)。

- ・創業支援利子補給補助金(5,138)
- ・創業スタートアップ支援補助金(8,330)

(1)通常枠(5,000)

補助率:1/2 補助上限:500千円

件数:10件

[充](2)U I Jターン女性活躍推進枠(3,330)

補助率:2/3 補助上限:666千円

件数:5件

○経済交流事業 133

【目的】

企業や経済団体との意見交換、連携を通じて、市内の産業の活性化を図るとともに、市内への企業立地を目指す。

【5年度目標】

長野県内の企業や行政、首都圏に本社を置く市内立地企業と情報共有及び意見交換を行い、北陸新幹線や直江津港などの広域交通ネットワークをいかした経済連携・交流、企業立地を促進する。

【実施内容】

- ・長野市・上越市経済交流懇談会(39)
- ・長野・上越地域連携協議会(15)
- ・立地企業東京本社懇談会(79)

○事業承継支援 1,079

【目的】

中小企業者の円滑な事業承継を進めることにより、世代交代による事業継続及び経営革新を促進する。

【5年度目標】

アフターコロナを契機とした事業承継の機運醸成に向けて、情報発信や専門家による個別相談の実施など、中小企業者の意識や知識の向上を図る。事業承継に係る実態調査を実施し、実態把握する。

【実施内容】

- ・事業承継セミナー開催等(135)
- ・事業承継実態等調査(944)
- ・新潟県事業承継・引継ぎ支援センター、商工団体、金融機関等との連携による事業承継の促進に向けた取組の実施

○産業振興総務管理費庶務関係事務費 1,246

【実施内容】

- ・指定管理者選定委員会開催費(184)
- ・産業観光交流部諸会議出席に係る費用(706)
- ・その他庶務経費(356)

○中小企業者等イノベーション促進事業 52,047

【目的】

経営環境の変化に柔軟に対応することができる中小企業者等を増加させることにより、持続可能な市内経済の構築及び地域経済の活性化を図る。

【5年度目標】

事業継続、販路開拓、新商品又は新サービスの開発、DX、IT化等の新たな成長に歩み出す中小企業者等を支援する。

【実施内容】

- ・中小企業者等イノベーション推進補助金 (50,000)

(1)通常型

補助率 1/2

補助上限額 500 千円

(2)支援強化型 (取組内容が市において特に推進する施策と合致する場合等)

補助率 3/4

補助上限額 750 千円

- ・会計年度任用職員の配置 (2,047)

歳出科目 (P 256～P 257)	7 款 1 項 2 目	商工振興費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
中小企業融資支援事業	245,422	681,760	△436,338

主な財源		主な経費	
県支出金	6,400	報酬	1,856
諸収入	226,300	貸付金	226,300
一般財源	12,722	負担金補助及び交付金	7,888
		補償、補填及び賠償金	2,014
		償還金利子及び割引料	6,400

中小企業者等の経営基盤の安定化に向け、各種制度融資の実施や信用保証料の補給などを行うことで資金調達しやすい環境を整備する。

○審査・預託事務 235,520

【目的】

中小企業者等に対して固定金利で長期に事業資金の供給を行うことにより、資金繰りの安定及び設備投資の促進を図る。

【5年度目標】

中小企業者等が安定した資金調達を行えるよう制度融資を行い、経営の安定と事業継続を支援する。

【実施内容】

- ・貸付金 (226,300)
- ・地方産業育成資金償還金 (6,400)
- ・金融業務専門員の配置等 (2,820)

<貸付金の内訳>

資金名	4年度予算額①	5年度予算額②	比較 (②-①)
地方産業育成資金	10,000	12,800	2,800
中小企業振興資金	5,000	800	△4,200
工場移転特別資金	9,000	4,700	△4,300
経営改善支援資金	600,000	195,300	△404,700
経営力強化資金	18,000	11,500	△6,500
中心市街地活性化資金	1,200	1,200	0
合計	643,200	226,300	△416,900

○信用保証協会保証料補助金 7,488

【目的】

中小企業者等が新潟県信用保証協会の保証付きで資金を借りにする場合に、信用保証料の一部を市が補助することにより、中小企業者等の負担の軽減を図る。

【5年度目標】

借入時の中小企業者等の負担を軽減し、資金調達しやすい環境を整える。

【実施内容】

- ・中小企業者等の資金繰りの安定と設備投資の促進を支援するため、中小企業者等が、市又は県の制度融資資金を新潟県信用保証協会の保証付きで利用した場合に信用保証協会に支払う信用保証料の一部を市が補助する。

制度資金名	補給割合
<ul style="list-style-type: none"> ・上越市地方産業育成資金 ・上越市中小企業振興資金 ・上越市経営改善支援資金 ・上越市経営力強化資金 	経営状況に応じた料率により算出した保証料に対し、最大 70%
<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県小規模企業支援資金 (一般要件、小口零細企業保証制度要件) 	経営状況に応じた料率により算出した保証料に対し、最大 90%
<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県フロンティア企業支援資金 (設備投資促進枠) (新技術・新事業等展開枠) 	(融資額) 1,000 万円以下 50% 1,000 万円超 2,000 万円以下 40% 2,000 万円超 3,000 万円以下 30% 3,000 万円超 5,000 万円以下 20% 5,000 万円超 1 億円以下 10%
<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県中小企業創業等支援資金 (創業枠、第二創業枠、再チャレンジ枠) ・新潟県事業承継資金 	(融資額) 1,000 万円以下 50% 1,000 万円超 3,500 万円以下 30% 3,500 万円超 1 億円以下 10%

○経営改善支援資金に係る損失補償 2,014

【目的】

中小企業者等が新潟県信用保証協会の信用保証を受け、金融機関からの融資を受けやすくすることにより、中小企業者等の資金繰りの安定を図る。

【5年度目標】

経営改善支援資金に係る代位弁済の損失補償に伴う事務を適切に行う。

【実施内容】

- ・中小企業者等の資金繰りの安定のため、市と新潟県信用保証協会が締結した損失補償契約に基づき、信用保証協会が金融機関に対して経営改善支援資金を代位弁済した場合、その損失の一部を市が負担する。

市から新潟県信用保証協会への補填率
保証額にかかわらず信用保険の非補填部分の 50% ただし、責任共有制度対象となる保証の場合 50%の 4/5

○利子補給補助金 400

【目的】

設備投資に係る負担軽減を行うことにより、小規模事業者の経営の安定と事業継続を図る。

【5年度目標】

経営基盤が脆弱な小規模事業者の設備投資を支援する。

【実施内容】

- ・小規模事業者経営改善資金（マル経融資）利子補給補助金

小規模事業者が設備投資を行う際の融資の借入利子の一部を補助

対象融資制度：日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金（設備資金）

補助対象融資額：2,000万円以内

補給率：年利0.5%

補給期間：1年間分

歳出科目 (P 256～P 259)	7 款 1 項 2 目	商工振興費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
新産業振興事業	14,937	15,101	△164

主な財源		主な経費	
繰入金	4,393	報酬	1,652
諸収入	372	旅費	834
一般財源	10,172	委託料	2,506
		使用料及び賃借料	1,900
		負担金補助及び交付金	5,702

市内の中小企業者等の経営基盤の強化や技術の高度化を推進するため、上越ものづくり振興センターをワンストップ窓口として、産学官連携や企業間ネットワークの構築を始め、中小企業者等が取り組む新製品・新技術の研究開発、販路開拓等に対し、総合的な支援を行う。

○上越ものづくり振興センター運営事業 5,083

【目的】

上越ものづくり振興センターを設置し、市内の中小企業者等の経営基盤の強化や技術の高度化を推進する。

【実施内容】

市内中小事業者等が取り組む人材育成、技術開発、販路開拓等の様々な課題の相談及び支援のワンストップ窓口として運営する。

- ・上越ものづくり振興センターの管理運営関連経費 (4,206)
- ・公益財団法人にいがた産業創造機構への職員派遣経費 (877)

○中小企業研究開発支援事業 5,909

【目的】

新製品・新技術の開発支援により、中小企業者等の経営基盤を強化し、産業の活性化と雇用の創出につなげる。

【5年度目標】

新産業創造支援事業補助金への5件以上の申請と新産業創造支援事業審査委員会で採択した全ての案件が計画どおり事業を達成できるようにする。

【実施内容】

- ・補助対象者…市内中小企業者等
- ・補助金額…取り組む事業により200千円から3,000千円を上限に支援(5,702)
- ・審査方法…大学教授を始め9人の専門家で審査を実施(4)事前調査研究支援事業は除く)
- ・採択事業達成に向け、ものづくり振興専門員等によるアドバイスを行う。
- ・採択された事業の成果発表会を翌年度に行う。

<補助制度の内容>

(1) 一般研究開発事業

製品開発及び技術開発の企画から設計、試作開発事業

- ① 農商工連携、大学等研究機関との連携…補助対象経費の2/3(補助上限額2,000千円)

② ①以外…補助対象経費の1/2（補助上限額2,000千円）

(2) 特定研究開発事業

上越ものづくり振興センター運営協議会の部会が承認した製品開発・技術開発の調査、企画、設計、試作開発及び販売プロモーション事業…補助対象経費の2/3（補助上限額3,000千円）

(3) 新市場開拓・商品化事業

一般研究開発事業等により開発された技術・製品等を事業化・商品化するための事業…補助対象経費の2/3（補助上限額1,000千円）

(4) 事前調査研究支援事業

技術の高度化・新製品開発等に向けて行う、産学連携による事前調査・基礎研究事業…補助対象経費の1/2（補助上限額200千円）

○メイド・イン上越推進事業 3,934

【目的】

市内の優れた工業製品及び特産品を「メイド・イン上越」に認証し、販路開拓や販売促進支援と地域の特色ある食材をいかした“選ばれる上越ならではの新たな産品”づくりの取組を推進し、ものづくり産業の振興と上越市のPRにつなげる。

【5年度目標】

- ・メイド・イン上越の認証件数5件以上とし、認証品総数120件以上を維持する。
- ・販路開拓のため、首都圏及び県内で新たな商談等の機会を創出する。
- ・厳格な認証審査による認証品であることのPRに取り組み、ブランド価値の向上と消費者の認知度向上を目指す。
- ・雪むろ酒かすラーメンを始めとする“選ばれる上越ならではの新たな産品”の販売目標数を28,000個とする（令和3年度の販売数は24,383個）。

【実施内容】

- ・商品開発等の専門家を始め8人の専門家による認証審査会を開催する。(703)
- ・特産品等の一層のレベルアップに向けた専門家による個別相談会を開催する。(710)
- [新]・商品開発等の専門家と連携し、新たな販路開拓につながる商談等を実施する。(195)
- ・メイド・イン上越専用ホームページやSNSの運営のほか、新規認証品掲載を含め訴求力の高いパンフレットを作成し、効果的に配置する。(2,275)
- ・認証工業製品の紹介パネルなどを上越妙高駅イベントスペースや公共施設等で展示し、当市のものづくり産業のPRも行う。(26)
- ・販売と認知度向上に向け、市内3か所に特産品の常設販売コーナーを設置するほか、ブランド認知度に係る調査を行う。(25)
- ・“選ばれる上越ならではの新たな産品”について、市のホームページによる周知を行う。

○雪室商品開発等支援事業 11

【目的】

上越の地域特性である雪の冷熱エネルギーを活用して地域産業を振興する。

【実施内容】

安塚区の地域振興に取り組む団体に和田雪室を貸付けする。

- ・土地借上料(11)

歳出科目 (P 258～P 259)	7 款 1 項 2 目	商工振興費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
ものづくり産業活性化事業	5,372	7,085	△1,713

主な財源		主な経費	
一般財源	5,372	報酬	2,692
		旅費	589
		需用費	173
		委託料	187
		使用料及び賃借料	547

企業間・産学間での連携による新たなプロジェクトの創出等をビジネスに結び付けていくための支援を行うとともに、地域資源をいかした農商工の連携やものづくり産業の活性化を推進する。

○企業支援コーディネート事業 5,005

【目的】

企業同士や大学等研究機関との連携をコーディネートするなど総合的に支援を行い、中小企業者等の新規受注や販路開拓につなげ、経営の安定化を図る。

【5年度目標】

企業間・産学間コーディネートによるマッチングを30件以上成立させる。

【実施内容】

- ・上越ものづくり振興センターにもものづくり振興専門員を1人配置する。(4,077)
- ・市内の中小企業者等への訪問、企業間連携及び産学連携のコーディネート、企業支援制度の活用や販路拡大等のアドバイスを行う。(928)

○上越市ものづくり企業データベース事業 367

【目的】

ものづくり企業データベースを活用し、市内の中小企業者等の受注機会の拡大や企業間連携の強化を図る。

【実施内容】

- ・市内のものづくり企業が保有する技術、設備、強みなどの情報を広く発信する。
- ・登録企業へデータベース活用方法の周知を図り、データベースの活用を促進する。

歳出科目（P 258～P 259）	7 款 1 項 2 目	商工振興費
-------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
企業振興事業	4,951	4,359	592

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	70	報償費	126
県支出金	195	旅費	100
一般財源	4,686	委託料	101
		使用料及び賃借料	71
		負担金補助及び交付金	4,545

既存産業の高度化や新たな成長産業の創出に向け、人材育成や企業間連携を支援することにより企業の経営力を向上させる。

○見本市等出展事業補助金 1,747

【目的】

市外やオンラインで開催される見本市や商談会等への出展事業者を支援することにより、新規受注先の獲得等、販路開拓を図る。

【5年度目標】

見本市等出展事業者の70%以上の新規商談成立を目指す。（令和4年度の商談成立事業者見込みは62.5%）。

【実施内容】

- ・補助対象者…市内中小企業者等
- ・補助金額…いずれも200千円を上限に支援
- ・審査方法…申請書類審査により支援を決定
- ・補助対象経費…出展にかかる会場借上料及び小間料等。小規模企業者は、前述の経費に加え、出展小間装飾費、製品輸送費、旅費の一部を支援。

(1) 一般枠

申請は3回までとし、初回は補助対象経費の2/3、2回目は1/2、3回目は1/3。ただし、小規模企業者については、1回目の補助率は2/3、2回目以降は1/2とし、利用回数制限を設けない。

(2) 新市場開拓枠

メイド・イン上越認証品製造事業者が見本市等に出展する際の補助対象経費の2/3を支援。（認証品毎に3回まで申請可）

○人材育成事業 479

【目的】

市内ものづくり企業等が取組む人材育成を支援し、企業の成長と経営安定化を目指す。

【5年度目標】

研修を受講した企業に対するアンケートにおいて、8割以上の良好な評価を得る。

【実施内容】

- ・階層別、テーマ別の集合研修（294）

市内ものづくり企業の競争力向上に資するため、上越商工会議所や上越鉄工協同組合、中小企業大学校など、関係機関との連携の下、集合形式の研修等を行う。

研修・セミナー名	主な内容
製造業管理者向け研修	工場管理者としての役割、部下の育成方法のポイント、人材育成計画の立案方法など
新製品・新技術開発、新分野・新産業参入チャレンジセミナー	新事業展開や新分野への参入に向けた、新製品・新技術開発等の先行事例の紹介など

・製造業人材育成支援事業補助金（72）

市内製造業の小規模企業者等（従業員 21 人未満）が自社の個別課題に応じて行う研修経費の一部を支援する。

(1) 派遣研修型

人材育成機関が実施する研修に社員を派遣して受講する際に要する研修費用…補助対象経費の 1/2 以内（補助上限額 30 千円）

(2) 講師招へい型

自社等に講師を招へいする際に要する費用及び会議室の借上費用…補助対象経費の 1/2 以内（補助上限額 50 千円）

・製造業技術力向上支援事業補助金（113）

市内製造業の中小企業者等（従業員 21 人以上）が行うものづくりに関する技能習得、技術向上を目的とした研修経費の一部を支援する。

(1) 派遣研修型

人材育成機関が実施する研修に社員を派遣して受講する際に要する研修費用…補助対象経費の 1/2 以内（補助上限額 30 千円）

(2) 講師招へい型

自社等に講師を招へいする際に要する費用及び会議室の借上費用…補助対象経費の 1/2 以内（補助上限額 50 千円）

○上越ものづくり協議会補助金 1,963

【目的】

市内中小企業者で組織する上越ものづくり協議会への支援を行い、当市のものづくり産業の活性化を図る。

【5年度目標】

展示会への共同出展に参加する企業を 6 社以上の確保と取引につながる商談等を出展各社 1 件以上目指す（令和 4 年度には、6 社中 4 社が取引につながる商談等を実施）。

【実施内容】

- ・上越ものづくり協議会が行う機械要素技術展への共同出展を支援する。（1,963）
- ・機械要素技術展において、当市のものづくり産業全体を PR する。

○工業関係団体等事業活動費補助 200

【目的】

頸城杜氏団体（上越地区酒造研究会）が取り組む、地域の伝統的な産業である酒造りの技術向上や技能伝承活動を支援する。

【5年度目標】

上越地区酒造研究会の取組が計画どおり事業を遂行できるようにする。

【実施内容】

- ・上越地区酒造研究会が行う杜氏・蔵人の技術向上や技能伝承のための清酒品評会や技術研修会等の活動に係る経費を支援する。（200）
- ・上越地区酒造研究会の取組に関する情報提供等を行う。

○中山間地域振興作業施設維持経費 172

【実施内容】

- ・清里区武士作業施設の借地料 (71)
建物は民間企業に貸付する。
- ・清里区棚田作業施設屋根雪除雪委託料 (101)

○ものづくり企業DX推進支援事業 (IT人材育成) 390

【目的】

市内ものづくり企業に対し、デジタルトランスフォーメーション(以下、「DX」という。)導入意欲を向上とDXの推進にかかわる人材の育成に係る支援を行い、企業のDXの推進を図り、生産性向上や新たなビジネスの創出、付加価値額の増加につなげる。

【5年度目標】

市内ものづくり企業アンケートにおいて、80%以上の企業が「既に取り組んでいる」「取組を検討している」状態とする(令和4年度アンケートでは65.4%)。

【実施内容】

- ・DXセミナーの開催 (140)

DXへの理解を深めるとともに、市内ものづくり企業におけるDX導入の先行事例や市内IT事業者の取組を紹介するセミナーを開催する。

[新]・DX人材育成等支援事業補助金 (250)

市内製造業が自社のDXを進める上で必要となる専門知識や技能について、従業員に習得させるために行う研修に係る経費や、ローカル5G施設を活用した実証実験に要する経費の一部を支援する。

(1) 人材育成枠

補助対象経費…研修機関が実施する研修に従業員を派遣して受講する際に要する研修費、自社等に講師を招へいする経費及び会議室の借上費等

補助率等…補助対象経費の1/2以内(補助上限額50千円)

(2) 実証実験枠

補助対象経費…当市を含む産学官金の連携により整備されたローカル5G施設「JM-DAWN」を活用して行う実証実験に要するシステム使用料、会議室の借上費、専門家への謝金等

補助率等…補助対象経費の1/2以内(補助上限額50千円)

提出課	産業立地課
-----	-------

歳出科目 (P 258～P 259)	7 款 1 項 2 目	商工振興費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
企業誘致促進事業	80,407	12,157	68,250

主な財源		主な経費	
県支出金	28,400	報酬	1,377
一般財源	52,007	需用費	800
		委託料	7,819
		使用料及び賃借料	1,008
		負担金補助及び交付金	65,384

企業誘致を通じて、税収の確保や雇用の創出により地域経済の活性化を図る。

○企業誘致促進事業 8,004

【目的】

企業立地を通じて、地域経済の活性化を図る。

【5年度目標】

地域経済の活性化のため、当市の特性をいかせる企業の誘致活動や産業団地等に進出した企業を含む市内企業に対する事業活動のフォローアップなどを行う。

【実施内容】

(1) 戦略的な企業誘致活動の実施 (6,734)

直江津港や北陸新幹線、上信越自動車道等、広域交通網の結節点である物流の拠点性をいかし、県と連携した企業誘致活動を推進する。

<対象業種等>

- ・既に地域に根差している企業の発展・事業拡大に資する業種
- ・広域交通網の結節点として優位性のある業種（物流関連、製造業等）
- ・IT企業等のサテライトオフィス
- ・新たな技術やビジネスモデル等を用いて事業を行う先進企業

(2) 企業誘致支援サービス事業の活用 (854)

全国の企業情報を有する民間企業の支援メニューの活用により、当市への立地意向調査を実施し、効率的な企業誘致活動を行う。

(3) 企業立地ガイドブックの作成 (416)

誘致活動に使用する企業立地ガイドブックの内容を更新し、増刷する。

<分譲中の産業団地の状況 令和5年1月末現在>

設置者	団地名	工場用地 面積 [ha]	分譲 企業 数 [社]	分譲 面積 [ha]	分譲 率 [%]	分譲可能 面積 [ha]
新潟県	新潟県南部産業団地	91.60	53	85.77	93.6	5.83
上越市	大潟工業団地（大潟区）	85.32	18	50.26	58.9	35.06
	板倉北部工業団地（板倉区）	6.10	8	2.98	48.9	3.12
	今曽根工業団地（清里区）	1.75	6	1.36	78.0	0.39
合 計		184.77	85	140.37	75.9	44.40

※大潟工業団地の分譲可能地は民有地

※表中の数値は表示単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しないことがある。

○ I T企業等のサテライトオフィス誘致促進事業 72,403

【目的】

多様な働く場の確保のため、I T企業のサテライトオフィスの誘致を促進する。

【5年度目標】

国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、I T企業の集積拠点となるオフィスビルの整備を支援するとともに、I T企業や先進企業等のサテライトオフィスの誘致を加速化するほか、企業間の交流や連携する機会を創出し、新たな価値を生み出す取組につなげる。

【実施内容】

(1) I T企業等誘致促進業務委託（6,800）

I T企業等の動向に知見を有する民間事業者を活用した誘致に加え、首都圏 I T企業と市内企業の交流と連携を促進し、新たなビジネス展開や将来的な進出につなげる。

・委託先：I T企業の動向に精通しており、I T企業とのネットワークをもつ民間企業

・委託内容：I T企業等の誘致活動、企業交流会の企画及び開催

・委託額：5,900千円、誘致実績による成果報酬額900千円（300千円×3社）

(2) サテライトオフィス等家賃補助金（5,184）

(3) サテライトオフィス等リフォーム補助金（4,000）

(4) サテライトオフィス等視察費用補助金（200）

(5) ワークスペース整備支援補助金（6,000）

[新](6) オフィスビル整備支援補助金（50,000）

上越妙高駅前において、I T企業等が入居でき、市内企業や団体との交流が可能なオフィスビルを整備する民間事業者に対し、整備に係る費用の一部を補助する。

・対象経費：オフィスの整備費

・補助率：1/2

・補助上限額：50,000千円/件

(7) サテライトオフィス誘致促進パンフレットの作成（219）

誘致活動に使用するパンフレットを作成する。

歳出科目 (P258～P261)	7款1項2目	商工振興費
------------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
産業団地管理費	27,927	25,442	2,485

主な財源		主な経費	
県支出金	14,736	需用費	4,053
一般財源	13,191	役員費	96
		委託料	22,657
		使用料及び賃借料	24
		負担金補助及び交付金	1,097

【目的】

産業団地において、分譲用地及び調整池等を適切に管理する。

【実施内容】

団地名	主な内容	
新潟県南部産業団地（頸城区）	草刈り、害虫駆除、調整池ポンプ施設点検 大側溝汚泥処理	15,803
西田中企業団地	草刈り、調整池汚泥処理	1,560
下五貫野企業団地	草刈り	159
下五貫野第二企業団地	草刈り、害虫駆除、調整池汚泥処理	1,243
流通業務団地	草刈り	117
和田企業団地	草刈り、害虫駆除	304
和田第二企業団地	草刈り	434
浦川原第一工業団地（浦川原区）	草刈り、側溝等清掃	939
浦川原第二工業団地（浦川原区）	草刈り	45
黒川工場団地（柿崎区）	草刈り	283
大潟工業団地（大潟区）	犀潟・潟町間鉄道線路側溝利用者協議会負担金	1,054
西福島工業団地（頸城区）	草刈り、調整池汚泥処理	3,132
板倉北部工業団地（板倉区）	草刈り、調整池汚泥処理	1,838
今曽根工業団地（清里区）	草刈り	226
三和西部工業団地（三和区）	草刈り	58
三和西部産業団地（三和区）	草刈り、害虫駆除 岡木溜排水路維持管理負担金	732

※新潟県南部産業団地の管理業務のうち、一部は県からの受託事務

提出課	産業政策課
-----	-------

歳出科目 (P260～P261)	7款1項2目	商工振興費
------------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
商業振興支援事業	43,540	45,401	△1,861

主な財源		主な経費	
諸収入	5,940	旅費	78
市債	4,700	委託料	4,707
一般財源	32,900	使用料及び賃借料	5,940
		負担金補助及び交付金	32,815

商工団体等が実施する賑わい創出のための取組や地域の事業者による売上増加に資する活動を支援することで、個店の経営力や集客力の向上を図り、地域商業の振興につなげる。

○地域商業活性化事業補助金 25,000

【目的】

商店街や商工団体等が取り組む収益力向上に持続的な効果が見込まれる事業を支援することにより、商店街等の活性化及び商業振興を図る。

【5年度目標】

コロナ禍や物価高騰など中小企業者の経営環境が悪化する中、商工団体等が主体的に実施する事業を支援することにより、中小企業者の売上の回復及び商業の活性化を図る。

補助実績及び目標

(単位：件)

区分	元年度	2年度	3年度	4年度 (見込)	5年度 (目標)
補助件数	18	8	12	10	13

【実施内容】

- ・収益力向上に効果が見込まれ、かつ、補助事業実施後も効果が持続する事業に対し、事業に要する経費の一部を補助する。
- ・一般事業（単一団体で実施する事業）
補助率：2/3
補助限度額：2,500千円
- ・連携事業（複数団体で実施する事業）
補助率：3/4
補助限度額：5,000千円

○商店街等環境整備事業補助金 6,000

【目的】

商店街等が実施する共有施設の改装や維持管理を支援することにより、商店街等の環境維持や来訪者の利便性の向上など、快適な商環境づくりを促進する。

【5年度目標】

補助実績及び目標 (単位：件)

区 分	4年度 (見込)	5年度 (目標)
補助件数	3	4

【実施内容】

- ・商店街等の共用施設の新設や維持管理、無料Wi-Fiや休憩スペースの設置など、来訪者の利便性向上に資する事業に対し、事業に要する経費の一部を補助する。
- ・補助率：1/2
- ・補助限度額：2,000千円

○空き店舗等利用促進補助金（13区対応型） 1,000

【目的】

13区の商業地の空き店舗、空き家を活用した商業施設の出店や事務所の開設を行う事業者を支援することにより、13区の商業の振興を図る。

【5年度目標】

出店者の事業の実現性や継続性を高めるため、改装費の支援のみならず、関係機関と連携し事業者に寄り添った支援を行う。

補助実績及び目標 (単位：件)

区 分	4年度 (見込)	5年度 (目標)
補助件数	1	2

【実施内容】

- ・13区の商業地の空き店舗等に出店する事業者に対し、改装費の一部を補助する。

区 分	補助率	限度額
1階店舗等	1/2	1,000千円
2階店舗等	1/4	500千円

- ・事業者の経営課題の解決に資するため、商工会等の関係機関と連携し、出店前の事業計画書のブラッシュアップや、出店後の定期的なフォローアップを実施し、伴走型の支援を実施する。

○経営に関する個別相談会 0

【目的】

専門家による個別相談会を開催し、中小企業者個々の経営課題の解決に資する。

【5年度目標】

相談者の経営課題に合わせ、適切な支援ができる専門家につなぎ、伴走支援を行う。

【実施内容】

- ・中小企業者や創業者の売上確保や資金繰りの安定化等の経営課題の解決に資するため、新潟県よろず支援拠点と連携し、専門家による無料の個別相談会を開催する。

○大島やまざくら管理運営業務 4,707

【目的】

食料品等販売施設「大島やまざくら」の適切な管理・運営を通じて、人口減少に伴い商店が著しく減少した大島区において、市民の日常生活の利便を図る。

【5年度目標】

利用実績及び目標

(単位：人)

区 分	元年度	2年度	3年度	4年度 (12月末時点)	5年度 (目標)
利用者数	46,722	43,163	40,132	31,275	42,100

【実施内容】

- ・大島やまざくら指定管理委託料

指定管理者：有限会社やまざくら

指 定期 間：平成 31 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

○オラレ上越設置協力事業 6,018

【目的】

東京都府中市との協定に基づき、場外舟券発売場「オラレ上越」の円滑な運営に協力することにより、地域の振興を図る。

【実施内容】

- ・場外舟券発売場施設借上料 (5,940)

オラレ上越が設置されている建物の一部を借り上げ、府中市へ転貸

- ・オラレ自治体責任者会議等参加 (78)

オラレが設置されている自治体が参集する会議に出席し、情報交換を実施

[新]○地域独自の予算事業 815

- ・さんわ桜の陣事業 (三和区)

三和区が誇る桜と食の魅力を広く発信するとともに、地域経済の好循環を生み出すため、区内の事業者と区内外の住民が交流を深める「さんわ桜の陣 2023 イベント」を開催するほか、桜をテーマにした「フォトコンテスト」や「川柳コンテスト」を実施する。

実施主体：さんわ桜の陣実行委員会

歳出科目 (P 260～P 261)	7 款 1 項 2 目	商工振興費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
中心市街地活性化対策事業	27,067	27,937	△870

主な財源		主な経費	
財産収入	1,976	報酬	1,377
一般財源	25,091	委託料	6,490
		共済費	332
		負担金補助及び交付金	
		旅費	239
			18,280

第3期中心市街地活性化プログラム（以下「活性化プログラム」という。）に基づき、商店街や商工団体、市民団体等による取組を推進し、高田・直江津両地区の中心市街地の活性化を図る。

○中心市街地活性化推進事業 9,187

【目的】

中心市街地の活性化とまちの賑わい創出に向け、上越商工会議所やまちづくり会社等の関係機関と連携し、活性化プログラムを推進する。

【5年度目標】

高田地区：商店街等の魅力や利便性の向上を図るとともに、若者の来訪やまちなか居住の促進に向けた取組を支援する。

直江津地区：うみがたり等の拠点施設の集客力をいかした街なか回遊の取組や来訪者の受入環境の整備のほか、まちなか居住の促進に向けた取組を支援する。

【実施内容】

- ・まちづくり支援業務 (6,490)
商店街や商工団体、市民団体等が実施する中心市街地の活性化に資する取組に対し、助言・調整などを行うとともに、中心市街地活性化補助金の交付事務を行う。
- ・中心市街地活性化協議会への支援 (400)
活性化プログラムに基づく取組を推進するとともに、空き店舗解消に向けた調査・情報発信を行う。
- ・国及び県、支援機関との協議等 (133)
- ・その他一般事務費 (2,164)

○まちづくり会社交付金事業 11,880

【目的】

商店街や市民団体等が主体となり実施する街なかの賑わいや来訪機会の創出に資するイベントの開催やサービスの提供、新たな担い手の育成などの取組を支援することにより、中心市街地の活性化を図る。

【5年度目標】

中心市街地の活性化に資するイベントや新たな担い手による取組を支援することで、街なかの賑わいの創出や商店街の魅力の向上を図る。

【実施内容】

- ・中心市街地の賑わいを創出するイベント事業への支援 (9,880)

- ・若手商業者、学生等の新たな担い手や市民団体等が実施する取組への支援（500）
- ・直江津まちづくり活性化協議会による「ガイドマップ事業」など情報発信・PR事業への支援（500）
- ・なおえつ茶屋運営事業への支援（900）
- ・水族博物館をいかした街なか回遊促進・PR事業への支援（100）

○空き店舗等利用促進補助金（中心市街地対応型） 6,000

【目的】

中心市街地の空き店舗、空き家を活用した商業施設の出店や事務所の開設を行う事業者を支援することにより、中心市街地の活性化を図る。

【5年度目標】

出店者の事業の実現性や継続性を高めるため、改装費の支援のみならず、関係機関と連携し事業者に寄り添った支援を行う。

補助実績及び目標

（単位：件）

区 分	元年度	2年度	3年度	4年度 (見込)	5年度 (目標)
補助件数	2	6	6	5	7

【実施内容】

- ・中心市街地の空き店舗等に出店する事業者に対し、改装費の一部を補助する。

区 分	補助率	限度額
1階店舗等	1/2	1,000千円
2階店舗等	1/4	500千円

- ・事業者の経営課題の解決に資するため、上越商工会議所等の関係機関と連携し、出店前の事業計画書のブラッシュアップや、出店後の定期的なフォローアップを実施し、伴走型の支援を実施する。

提出課	産業立地課
-----	-------

歳出科目(P260～P261)	7款1項2目	商工振興費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
直江津港振興事業	126,270	3,542	122,728

主な財源		主な経費	
一般財源	126,270	報償費	1,107
		旅費	516
		需用費	344
		役務費	20
		使用料及び賃借料	193
		負担金補助及び交付金	124,090

当市の重要な産業基盤である直江津港の利活用を促進することにより、市内産業の活性化と地域の振興を図る。

○港湾振興企画事業 126,206

【目的】

新潟県や港湾事業者と連携したポートセールスに取り組むことにより、直江津港の拠点性の強化、及び市内産業の活性化を図る。

【5年度目標】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により減少したコンテナ貨物を取り戻すため、利用企業の増加を図り、令和3年のコンテナ貨物量である27,500TEUを目指す。
- ・クルーズ客船の誘致に向け、関係者と連携した取組を推進し、令和6年度の寄港に向けた体制を整える。
- ・佐渡汽船(株)に対し財政支援を行うとともに、関係者と連携した利用促進に努め、小木直江津航路を活用した周遊利用を増加させる。
- ・カーボンニュートラルポート形成協議会に参画し、令和6年に新潟県が策定する形成計画について協議する。

【実施内容】

(1) ポートセールス (641)

- ・外貿定期コンテナ貨物量の拡大のため、新潟県や港湾事業者と連携して市内企業を始め、長野県内を中心とした市外の荷主企業への訪問や企業向け説明会等を通じて直江津港の利用を促すことにより、利用企業の増加を図る。
- ・外貿定期コンテナ航路の維持のため、新潟県や港湾事業者と連携して船会社へ訪問し、直江津港の課題や改善点などの情報共有を図り、航路維持に向けた取組を展開する。

(2) 港湾振興専門員による利用提案 (987)

- ・直江津港の振興を図るため、港湾振興専門員が有する国際物流に係る専門的な知見を活用し、荷主企業等に対して直江津港の利用提案を行うほか、港湾事業者等関係者と連携した取組を進める。

(3) 外貿定期コンテナ利用促進支援事業 (1,845)

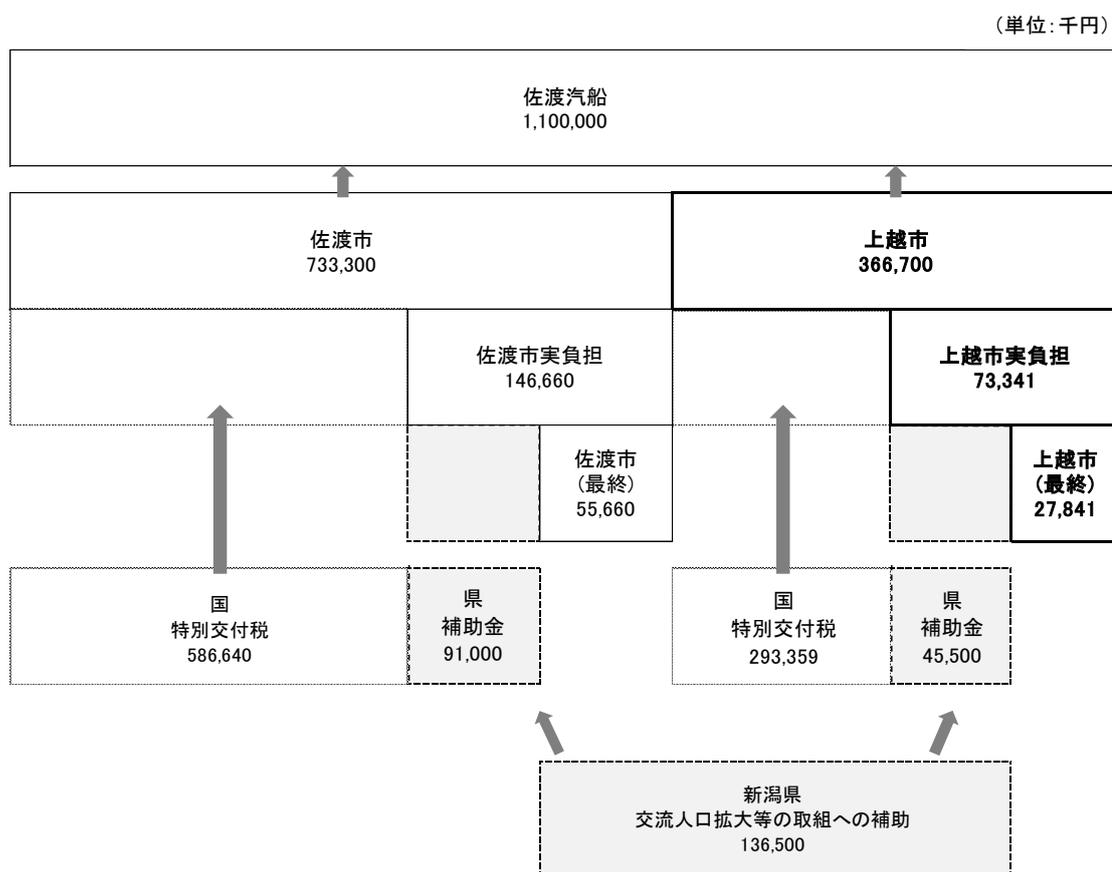
- ・直江津港の利用促進を図るため、新たに貿易を始める企業や他港のみを利用していい企業に対して、直江津港を利用する経費の一部を補助する。

[充](4) クルーズ客船の誘致 (176)

- ・クルーズ客船の誘致に向け、関係者との関係構築を図るほか、先進港の視察及び船社への訪問を行うとともに、寄港時の市内への誘客に向けた仕組みづくりを検討する。

[新](5) 小木直江津航路の維持及び利用促進 (122, 557)

- ・小木直江津航路の維持のため、関係自治体と連携し、カーフェリー就航後3年間、11億円を上限として、佐渡汽船㈱に対し財政支援を行い、経営の安定化を図る。
<参考：支援スキーム>



※単年度予算額は1/3 (3年間で支援を行う)。

令和5年度 122,234千円 (債務負担行為 令和6~7年度 244,466千円)

- ・佐渡航路に係る各種会議に出席し、航路の維持・確保のための情報共有及び意見交換を行うとともに、カーフェリーの就航や北陸新幹線の敦賀延伸、「佐渡島(さど)の金山」の世界文化遺産登録を見据えた小木直江津航路のより一層の利用促進に関係者とともに取り組む。

(6) 新潟県が設置するカーボンニュートラルポート形成協議会への参画 (0)

○上越沖メタンハイドレート商業化促進事業 64

【目的】

メタンハイドレートに関する市民の関心を高めるとともに、関係団体等との連携を通じて、商業化に際しての直江津港の活用を目指す。

【5年度目標】

- ・環境イベントや出張授業等を通じた広報・啓発活動を継続し、メタンハイドレートに対する市民の関心を高める。
- ・メタンハイドレートの調査研究等に関する情報を収集し、関係者との関係構築を図りながら、国等へ働きかけを行う。

【実施内容】

(1) メタンハイドレートに対する理解促進

- ・環境イベントや小学校へのお出張授業等による市民への周知・啓発とともに、市内企業の商業化への参画を促すため、情報提供等を関係者とともに取り組む。

(2) 他団体との関係構築

- ・海洋エネルギー資源開発促進日本海連合（12 府県）、新潟県、地元エネルギー関連事業者等との連携・情報共有を行う。
- ・国や関係機関の調査研究等に関する情報収集を行う。

(3) 国への働きかけ

- ・関係機関等と連携し、商業化に向けた取組の加速と直江津港の活用を国に働きかける。

歳出科目 (P 260～P 261)	7 款 1 項 2 目	商工振興費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
貿易振興事業	871	3,578	△2,707

主な財源		主な経費	
一般財源	871	旅費 25	負担金補助及び交付金 826
		使用料及び賃借料 20	

【目的】

市内企業の海外への販路拡大に向けた支援を行い、今後の事業展開に伴う地域経済の活性化や直江津港を通じた物流の促進を目指す。

【5年度目標】

企業の海外への事業展開を後押しするため、国内外の関係機関等との連携を構築・強化するとともに、市内企業に対し、的確に情報提供する。

【実施内容】

- (1) 海外への販路拡大に向けた情報収集等 (45)
 - ・市内企業の取組状況や海外の市場動向に関する情報収集
 - ・国内外の支援機関や海外進出企業等を通じた現地との関係構築・連携強化
 - ・越境ECやオンライン商談等の非接触型の海外展開支援メニューに関する情報提供
- (2) 貿易関連団体等への負担金の支出 (826)
 - ・海外ビジネス情報の収集や情報提供を行うために貿易関連団体等に負担金を支出
 - <貿易関連団体等>
 - ・独立行政法人 日本貿易振興機構新潟貿易情報センター (ジェトロ新潟)
 - ・新潟県大連経済事務所
 - ・日ロ沿岸市長会

提出課	産業政策課
-----	-------

歳出科目 (P 260～P 261)	7 款 1 項 2 目	商工振興費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
住宅建築促進事業	641,913	849,000	△207,087

主な財源		主な経費	
諸収入	641,913	貸付金	641,913

【目的】

貸付残高に対する預託及び償還等の事務を適切に行う。

【実施内容】

- ・貸付期間：平成 17 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日
- ・償還期間：最長 20 年
- ・預託期間：令和 11 年度まで市内金融機関へ預託

年度	元年度	2 年度	3 年度	4 年度
預託件数(件)	594	561	530	483
預託額	1,519,792	1,271,288	1,051,240	828,636

歳出科目（P260～P261）	7款1項2目	商工振興費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
計量検査事業	8,534	2,688	5,846

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	1,453	報酬	1,746
一般財源	7,081	職員手当等	372
		共済費	397
		旅費	62
		役務費	66
		委託料	5,816

【目的】

消費者及び事業者が安心して商取引を行う環境を整えることにより、円滑な経済活動の促進を図る。

【実施内容】

- ・ 特定計量器定期検査（5,816）…隔年実施
- ・ 計量業務推進員の配置（2,577）
- ・ 商品量目立入検査等（141）

歳出科目 (P 260～P 263)	7 款 1 項 2 目	商工振興費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
設備投資促進事業	291,641	316,085	△24,444

主な財源		主な経費	
諸収入	20,491	報酬	120
一般財源	271,150	旅費	9
		負担金補助及び交付金	271,021
		貸付金	20,491

【目的】

財政的支援を行うことにより、企業の設備投資を促し、市内企業の持続的な成長・発展と地域経済の活性化に寄与する。

【5年度目標】

市内企業による業務拡大や生産性向上に向けた設備投資を促し、市の支援制度や国県の制度の周知及び活用サポートをしながら 60 件以上を支援する。

【実施内容】

(1) 企業の設備投資に対する奨励金の交付 (271,021)

- ・対象工場等：55 企業 92 工場等

工場、設備等の新設・増設又は更新に対して奨励措置を行う。

各交付年度における奨励金の上限額は、1 企業 5,000 万円

- ・指定基準

- a. 工場、設備等に係る固定資産の取得価額の合計額（ファイナンスリース契約で取得した償却資産も含む。）及び新規雇用者数※が下表に該当すること。

	固定資産の取得価額		新規雇用者数
中小企業	重点業種	2,000 万円以上	要件なし
	その他業種	3,000 万円以上	
大企業	2 億円以上		5 人以上

- b. 公害を発生する恐れがないこと。

- c. 市税を完納していること。

※ 新規雇用者とは、①新規に採用する常用使用従業員のうち、市内に住所を有する者、②常用使用従業員のうち、新たに市内に住所を有することになった者をいい、①及び②の合計数が上記の雇用者数を満たす場合に適用

・対象業種及び交付割合

		1年目	2年目	3年目
重点業種	製造業、道路貨物運送業、倉庫業、こん包業、卸売業、コールセンター	100/100	100/100	100/100
その他業種	旅館、情報サービス業、自然科学研究所、植物工場	100/100	60/100	40/100

(2) 企業の設備投資に対する融資 (20,491)

- ・融資限度額：工場等の新設・増設 2億円、設備の新設・更新 5,000万円
- ・貸付期間：12年以内（据置2年以内）
- ・利率：2.00%

(3) 企業振興審議会の開催 (129)

(4) 地域未来投資促進法に基づく設備投資の促進

- ・制度概要：一定の要件を満たす土地、建物、償却資産のうち構築物に係る固定資産税を3年間課税免除とする。
- ・対象者：「地域経済牽引事業計画」の県承認かつ主務大臣による先進性等の確認を受けた企業

(5) 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づく設備投資の促進

- ・制度概要：過疎地域において取得した事業用資産のうち、一定要件を満たす資産に係る固定資産税を3年間課税免除とする。
- ・対象者：過疎地域内(安塚区、浦川原区、大島区、牧区、柿崎区、吉川区、中郷区、板倉区、清里区、三和区、名立区)で製造業、情報サービス業等、農林水産物等販売業、旅館業を行う中小企業

(6) 中小企業等経営強化法に基づく先端設備等導入の促進

- ・制度概要：一定の要件を満たす設備投資に係る固定資産税を3～5年間1/2～2/3の割合で減免とする。
- ・対象者：設備投資を通じて労働生産性を年平均3%以上向上させるための計画（先端設備等導入計画）を作成し、市の認定を受けた中小企業

提出課	産業政策課
-----	-------

歳出科目 (P 262～P 263)	7 款 1 項 2 目	商工振興費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
新型コロナウイルス感染症経済対策費	60,000	0	60,000

主な財源		主な経費	
一般財源	60,000	負担金補助及び交付金	60,000

○新型コロナウイルス感染症経済対策費 60,000

【目的】

中小企業者等に対して適時適切な支援を行うことにより、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響を受けた市内経済の回復、活性化を図る。

【5年度目標】

- ・中小企業者等の借入時の負担を軽減し、資金調達しやすい環境を整える。
- ・経営基盤が脆弱な小規模事業者の設備投資を支援する。

【実施内容】

- ・信用保証協会保証料助成金 (27,500)
中小企業者等が新潟県セーフティネット資金等の制度融資を利用する場合に信用保証協会に支払う信用保証料の一部 (50%) を補助する。
- ・利子補給補助金 (32,500)
中小企業者等が新潟県セーフティネット資金等の制度融資を利用する場合に借入利子の一部 (1%、最大2年分の利子相当額) を補助する。

提出課	産業立地課
-----	-------

歳出科目 (P 262～P 263)	7 款 1 項 2 目	商工振興費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
工業団地整備事業	60,291	0	60,291

主な財源		主な経費	
一般財源	60,291	委託料	60,291

【目的】

企業の投資計画やニーズに対応可能な工業団地を整備することにより、雇用や税収の確保及び地域経済の成長を図る。

【5年度目標】

大潟工業団地を整備するため、関係者の合意形成を図り、用地測量、用地調査、埋蔵文化財の試掘調査を実施する。

【実施内容】

[新] 大潟工業団地整備に当たり、用地測量、用地調査、埋蔵文化財の試掘調査を行う。

- (1) 用地測量、用地調査業務委託 (51, 183)
 - ・地形及び用地測量
 - ・土地登記簿からの権利調査及び図面作成
- (2) 立木伐採業務委託 (9, 108)
 - ・文化財保護法に基づく埋蔵文化財の試掘調査のための立木伐採

※埋蔵文化財の試掘調査は文化行政課が実施
- (3) 事業スケジュール

年度	項目
5年度	地権者説明、用地測量、用地調査、埋蔵文化財調査
6年度	用地交渉、用地取得、造成工事（～7年度）
7年度	分譲開始

提出課	観光交流推進課
-----	---------

歳出科目 (P 262～P 263)	7 款 1 項 3 目	観光交流費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
観光振興対策事業	125,214	94,643	30,571

主な財源		主な経費	
財産収入	320	報酬	5,777
諸収入	7,958	委託料	40,158
一般財源	116,936	需用費	1,723
		役務費	1,551
		負担金補助及び交付金	72,615

観光情報の提供、観光資源のPR、関係団体の取組への支援などを通じ、観光の振興と多様な交流機会の創出を図る。

○観光案内運営事業 20,329

【目的】

当市における歴史や文化、自然風土を始めとする観光資源などの情報を幅広く備え、来訪者へのきめ細かな観光案内により満足度の向上を図り、当市への再訪を促す。

【5年度目標】

観光案内所利用実績及び目標

・窓口案内人数

(単位：人)

	元年度	2年度	3年度	4年度 (12月末現在)	5年度 (目標)
高田駅前観光案内所	6,204	2,254	2,873	3,258	5,000
直江津駅前観光案内所	9,957	4,518	5,295	4,983	7,000
上越妙高駅観光案内所	7,244	3,220	3,650	4,298	7,000
合計	23,405	9,992	11,818	12,539	19,000

【実施内容】

・観光案内所運營業務委託料 (15,016)

各観光案内所が連携し、市内の観光名所や宿泊施設等の案内及び情報提供を行う。

案内所名	開設時間	休日
高田駅前観光案内所	午前10時～午後4時 ※観桜会会期中は午前10時～午後7時	12月31日・1月1日
直江津駅前観光案内所	(4月1日～10月31日) 午前9時30分～午後5時30分 (11月1日～3月31日) 午前10時～午後5時	12月31日・1月1日
上越妙高駅観光案内所	午前9時～午後6時	なし

- ・春日山案内職員に係る人件費等 (2, 157)
春日山城跡に訪れる観光客に対して、周辺施設や市内の観光名所等の案内を行う。
※案内実施期間：4月1日～10月31日（午前9時～午後4時）
- ・春日山駐車場誘導業務委託料 (2, 277)
混雑が予想されるゴールデンウィーク及びお盆期間中において、シャトルバスの運行及び周辺施設駐車場への誘導を行う。
- ・上越妙高駅デジタルサイネージ広告掲載料 (880)
上越妙高駅自由通路沿いに設置されているデジタルサイネージを活用し、駅利用者に対し、時季に合わせたおすすめ観光スポットの紹介などを発信する。

○観光物産宣伝推進事業 22, 442

【目的】

市内のイベントや県外姉妹都市のイベントにおいて、物産展を開催し、特産品の販売や観光PRを行うことにより、市民の姉妹都市等への理解を深めるとともに、交流人口の拡大を図る。

【5年度目標】

物産展開催実績及び目標 (入込数：人)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (目標)
実施会場数	4会場	2会場	3会場	4会場	5会場
入込数	1, 349, 100	17, 206	231, 940	448, 171	754, 900

【実施内容】

(入込数：人)

イベント名		開催場所	開催時期 (予定)	主催者	入込数 (目標)	事業費
市 外 会 場	いわない怒涛まつり	岩内町 (隔年開催)	8月上旬	岩内町	48, 000	1, 064
	産業フェアしずおか	静岡市	11月下旬	静岡市	77, 800	575
市 内 会 場	観桜会物産展 (第98回)	高田城址公園	3月29日 ～ 4月12日	上越市	600, 000	6, 612
	謙信公祭物産展	春日野駐車場	8月下旬		6, 000	4, 456
	姉妹都市と上越市の 観光と物産展	直江津 屋台会館	10月上旬		23, 100	6, 036
	観桜会物産展 (第99回)	高田城址公園	令和6年 3月29日 ～ 4月14日		—	3, 699

※観桜会物産展の事業費は、開催期間中の令和5年度に係る費用となる。

- ・債務負担行為の設定
第99回高田城址公園観桜会の会期を令和6年3月29日(金)～4月14日(日)(予定)としていることから、債務負担行為を設定するもの
- ・観光物産宣伝推進委託料全体額 10, 793

・年度別事業費

	事業費
令和5年度	3,699
令和6年度実施分 (債務負担行為設定額)	7,094
合計	10,793

○上越観光コンベンション協会補助金 43,698

【目的】

情報発信、観光ルートの開発と商品化、旅行会社等への営業活動に取り組むとともに、観光客の受入態勢を強化することにより、交流人口の拡大と市内経済の活性化を図る。

【5年度目標】

スポーツ大会や学術会議、コンクールなどのコンベンション開催件数：11件
(元年度…9件、2年度…2件、3年度…6件、4年度見込…9件)

【実施内容】

上越観光コンベンション協会補助金

- ・上越観光コンベンション協会の体制及び活動の充実 (34,014)

職員人件費、観光情報サイト「上越観光Navi」の運営、旅行会社への観光営業活動、メディアを活用した広告宣伝活動、観光ボランティアガイドの養成に係る経費の一部を支援する。

- ・コンベンション開催誘致事業 (5,567)

交流人口の拡大と地域経済の活性化を促進するため、スポーツ大会や学術会議、コンクールなどの開催費の一部や、スポーツ合宿に係る宿泊費の一部を補助する取組について、事業費を支援する。

- ・旅行商品造成促進事業 (4,117)

旅行商品の造成を促進し市内経済の活性化を図るため、旅行会社が企画する市内宿泊又は立ち寄りを伴う募集型旅行に対し、経費の一部を補助する取組について、事業費を支援する。

○観光振興に係る諸経費 8,007

【実施内容】

- ・会計年度任用職員 (3人)
- ・郵便料、運搬料、庁用自動車維持管理経費、その他消耗品等

○各区の観光振興対策事業 12,289

<安塚区> 739

【目的】

安塚観光協会及びその他民間事業者等と連携し、集客イベントの開催及び安塚雪だるま高原を始めとする観光資源のPR活動等を行うことにより、来訪者の増加と経済効果の拡大を図る。

【5年度目標】

観光協会事業入込数：7,000人 (4年度見込：6,500人)

【実施内容】

- ・安塚観光協会補助金 (739)
集客イベントの開催、PR活動に対する補助

＊5年度事業内容

- ・6月～11月 信越トレイルの利用促進
- ・10月 都内物販イベントへの参加
- ・11月上旬 収穫祭事業
- ・2月下旬 安塚キャンドルロード（灯の回廊）
- ・その他 情報発信・観光客誘致事業、区内観光案内看板整備事業

<牧区> 329

【目的】

観光関係団体と連携し、観光施設や特産品をPRするとともに都市との交流事業等に取り組み、牧区への交流人口の拡大を図る。

【5年度目標】

観光施設入込数：13,350人（4年度見込：9,000人）

【実施内容】

- ・牧ふるさと観光振興会補助金（286）
特産品の販売促進や観光のPR活動並びに農作業体験を中心とした都市と農村の交流事業に対する補助
- ＊5年度事業内容
 - ・東京牧村会や観桜会など市内イベント等での牧区の特産品のPR
 - ・そば打ち体験、しめ縄づくりなどの体験交流事業の実施
- ・消耗品費（43）

<柿崎区> 3,834

【目的】

各種イベントや海水浴・米山等のPRを通じ、柿崎区の知名度を向上させ、交流人口の拡大を図る。

【5年度目標】

- ・海水浴場入込数：6,000人（4年度実績：5,410人）
- ・柿崎観光協会事業入込数：45,290人（4年度実績：28,108人）

【実施内容】

- ・米山山頂避難小屋連絡協議会負担金（428）
避難小屋等の維持管理及び山頂の環境整備に要する費用の負担金
（米山山頂避難小屋連絡協議会：柏崎市、上越市（柿崎区）、柏崎山岳会、柿崎山岳会、柏崎観光協会、柿崎観光協会、柿崎区下牧町内会）
- ・柿崎観光協会補助金（2,702）
柿崎区の観光振興を担う観光協会の活動に対する補助
- ＊5年度事業内容
 - ・4月 1日～16日 坂田池観桜会（桜ライトアップ）
 - ・5月 28日 米山山開き登山
 - ・6月 20日～22日 お引き上げ商工まつり
 - ・7月 30日 観光地引網
 - ・8月 11日 柿崎納涼花火大会
 - ・10月下旬 城山（猿毛城址）登山
 - ・その他 坂田池周辺の桜の保護育成、苗木の捕植
新聞・雑誌・SNS等による観光情報の発信
観光宣伝用グッズの制作

- ・山梨県北杜市（姉妹都市）の甲斐源氏まつり参加に係る旅費、燃料費等（21）
- ・消耗品（5）
- ・米山ルートガイド増刷（396）
- ・庁用車の燃料費・リース料・点検修繕費用等（282）

<大潟区> 4,337

【目的】

大潟観光協会、鵜の浜温泉観光組合等の大潟区の観光関係団体と連携を図り、大潟区の観光PRと入込数の増加を図る。

【5年度目標】

- ・鵜の浜温泉の宿泊者数：34,000人（4年度見込：32,500人）
- ・鵜の浜海水浴場・人魚館等を含めた日帰客数：134,000人（4年度見込：115,000人）

【実施内容】

- ・大潟観光協会補助金（2,737）

大潟区の観光振興の中心的な役割を担う観光協会の活動に対する補助

＊5年度事業内容

- ・大潟キャンプ場の運営、野外活動施設（アスレチック等）の管理
- ・ホームページやパンフレットによる観光情報の発信
- ・県内外の観光協会、NEXCO、JR、えちごトキめき鉄道など関係団体との連携によるPR
- ・観光商談会への参加によるPR

- ・鵜の浜温泉まつり実行委員会補助金（1,600）

鵜の浜海水浴場を会場に実施される「鵜の浜温泉まつり」、「色彩音楽花火」への補助

＊5年度事業内容

- | | |
|-------------------|----------|
| ・8月19日 | 鵜の浜温泉まつり |
| ・7月下旬～8月下旬（計5回予定） | 色彩音楽花火 |

<頸城区> 1,000

【目的】

頸城区観光協会の事業運営を支援し、頸城区の観光資源の活用や情報発信を積極的に行い、地域の活性化と交流人口の拡大を図る。

【5年度目標】

観光協会事業入込数：9,590人（4年度見込：9,536人）

【実施内容】

- ・頸城区観光協会補助金（1,000）

頸城区の観光振興を推進する観光協会の活動に対する補助

＊5年度事業内容

- ・バスツアー、大池まつり、月見の会、芋煮会、新酒祭り、ホームページによる観光情報の発信等

<吉川区> 1,074

【目的】

区内のイベント等において、特産品販売等のPRを行い、吉川区特産品の販路拡大や交流人口の拡大を図る。

【5年度目標】

観光協会事業入込数：2,500人（4年度見込：1,500人）

【実施内容】

- ・吉川観光協会補助金（424）

吉川区の観光振興を推進する観光協会の活動に対する補助

＊5年度事業内容

- ・4月中旬 尾神しだれ桜まつり
 - ・5月下旬 尾神岳山頂トレッキング（散策会）
 - ・6月～ 天岩戸尾神岳伝説PR事業
 - ・7月17日（海の日） よしかわ道の駅まつり
 - ・7月中旬 吉川テラス（出店）
 - ・8月上旬 よしかわやっただれ祭り（出店）
 - ・8月11日（山の日） 尾神岳山の上ライブ
 - ・9月中旬 観光協会長杯パラグライダー大会
 - ・9月下旬 尾神岳山頂トレッキング（散策会）
 - ・10月 尾神そば早食いイベント
 - ・11月中旬 郷土料理を食する会（よしかわ新そばまつり）
 - ・3月上旬 新酒を楽しむ会
- ・東京都荒川区「荒川川の手まつり」での物産販売等に係る旅費、物資運搬料、バス借上料等（645）
 - ・消耗品（5）

<中郷区> 396

【目的】

中郷区の観光地としての魅力を高めるため、松ヶ峯の桜を始めとした区内の地域資源のPRを行い、交流人口の拡大を図る。

【5年度目標】

観光協会事業入込数：3,000人（4年度見込：1,230人）

【実施内容】

- ・中郷観光協会補助金（396）

中郷区の観光振興を推進する観光協会の活動に対する補助

＊5年度事業内容

- ・観光PR事業（さくらを楽しむ会・松ヶ峯周辺における桜のライトアップ）、二本木駅スイッチバック活性化事業、次世代継承体験事業及び観光関連事業への協賛、桜開花等の情報発信

<板倉区> 400

【目的】

市内の観光関係団体と連携し、板倉区のPR・情報発信を行うことにより、観光施設への誘客促進と入込数の増加を図る。

【5年度目標】

ゑしんの里記念館入込数：7,500人（4年度見込：6,800人）

【実施内容】

- ・ゑしんの里観光公社補助金（400）

板倉区の観光のPR活動、施設の利用促進等を推進する一般財団法人ゑしんの里観光公社の活動に対する補助

＊5年度事業内容

- ・区内の観光関係団体との連携による観光PR活動
- ・地元特産品販売の実施や、キャットツアー写真展などの開催
- ・ゑしんの里記念館の利用促進

<名立区> 180

【目的】

交流人口の拡大を目指す区内観光団体の活動を支援することにより、観光振興の推進を図る。

【5年度目標】

長野県東御市で開催される「火のアートフェスティバル」へ参加し、名立区及び上越市のPRを行い、交流を深める。

【実施内容】

- ・名立区イベント交流事業補助金（180）

友好交流を続けている長野県東御市で開催される「火のアートフェスティバル」への参加に対する補助

＊5年度事業内容

- ・カニ汁、浜焼き、塩乾物等の販売、名立太鼓連中の演奏、名立区及び上越市のPR

[新]○地域独自の予算事業 18,449

- ・上越妙高駅賑わいづくり環境整備事業（和田区）（483）

上越妙高駅利用者に当地のおもてなしや義の心を届けるとともに、主要イベント等にいがない、賑わいと交流の推進を図るため、おもてなしの心や「地域の宝」である今泉城跡の大ケヤキ、観桜会、観蓮会等を発信するのぼり旗を駅に設置する。

実施主体：上越妙高駅と共に歩む会

- ・「雪まつり（キャンドルイベント）」開催による地域交流・地域活性化事業（高士区）（2,389）

地域の魅力を発信し、知名度を上げるとともに、住民の団結力を高めるため、「高士雪まつり」を開催する。

実施主体：高士地区雪まつり実行委員会

- ・直江津写真フェア事業（直江津区）（334）

直江津の魅力を再発見・発信するため「撮って発見 直江津の魅力」をテーマにした写真コンテストを開催し、写真愛好者の作品展示を行うとともに、写真連盟のHPに掲載しPRする。

実施主体：上越写真連盟

- ・谷浜・桑取区のガイドマップ作成事業（谷浜・桑取区）（380）

谷浜・桑取区への来訪者を始め多くの方々に分かりやすく見どころをPRするため、ガイドマップを増刷し、区内外に配布するとともに、ガイドマップに掲載されている場所を巡る「ガイドマップ巡り」（お宝さがし）を実施する。

実施主体：谷浜地域づくり協議会

- ・山のうへの雪まつり事業（安塚区）（950）

キューピットバレイスキー場を活用して、交流人口の拡大による地域の活性化を図るため、雪上花火をメインとしたイベントを開催する。

実施主体：山のうへの雪まつり実行委員会

- ・山のうえ真夏の雪まつり事業（安塚区）（939）

キューピットバレイスキー場を活用して、交流人口の拡大による地域の活性化を図るため、真夏に安塚区の地域資源である「雪室の雪」を体験できるイベントを開催する。

実施主体：山のうえの雪まつり実行委員会
- ・うらがわら雪あかりフェスタ開催事業（浦川原区）（222）

浦川原区内における交流と区外からの誘客を進め、雪と親しみながら地域活力の向上を図るため、「うらがわら雪あかりフェスタ」を開催する。

実施主体：うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会
- ・地域の宝を活かした「薬師 Re : Project」地域活性化事業（大島区）（1,140）

区の交流・関係人口の更なる拡大を図るため、地域の宝に認定された薬師山道をいかして、山頂付近に絵画を展示する「ブナの森美術館」や雪原にろうそくを灯しデイキャンプが楽しめる「ユキノアカリ」を開催するなど、「ココでしかできないコト」を創り出す。

実施主体：細越平生会
- ・地域活性化促進事業（まき深山のともしび）（牧区）（787）

賑わいを創出するとともに地域の魅力を発信し区内外に交流の輪を広げるため、冬の一大会イベントである「灯の回廊 まき深山のともしび」に牧区全体で取り組む。

実施主体：牧区地区協議会連絡会議
- ・大瀧区散策ルート作成事業（大瀧区）（1,610）

地域の名所を紹介できる人材を育成し、交流人口の拡大を図るため、大瀧区（犀瀧駅周辺）の散策マップや案内看板を作成し、散策ルートの案内イベントを実施する。

実施主体：まちづくり大瀧
- ・鵜の浜温泉色彩音楽花火事業（大瀧区）（3,774）

鵜の浜温泉の誘客や地域住民の活力向上を図るため、鵜の浜温泉の名物である「色彩音楽花火」を中心としたイベントを実施する。

実施主体：鵜の浜温泉観光組合
- ・大池のキャンプ場を活かし、遊歩道から山城巡回を楽しむ事業（頸城区）（953）

大池・小池をいかした観光振興策の実施により、「住みたい、訪れたい」まち頸城区の実現に向け交流人口の拡大を図るため、大池キャンプ場利用者をターゲットに大池側からの登山道の整備、狼煙台の眺望を案内する看板の設置及び、腐食した木製の椅子の交換を実施する。

実施主体：雁金城跡保存会
- ・大池の四季を感じる散策ツアー事業（頸城区）（424）

大池・小池をいかした観光振興策の実施により、「住みたい、訪れたい」まち頸城区の実現に向け交流人口の拡大を図るため、四季を通じて身近な大池の自然を体験する散策ツアーを実施し、リピーターを増やす。また、遊歩道の樹木への名札取付を実施する。

実施主体：市（提案団体：特定非営利活動法人頸城区観光協会、特定非営利活動法人くびき里やま学校）
- ・吉川観光重点2地区活性化推進事業（吉川区）（2,288）

尾神岳エリアと道の駅よしかわ杜氏の郷エリアの活性化を図り、吉川区の観光振興に寄与するため、尾神岳エリアではスカイスポーツを中心とした地域資源の活用を進め、道の駅よしかわ杜氏の郷エリアでは各施設が行うイベント等を支援する。

実施主体：吉川観光協会

- ・灯火のイベント事業（三和区）（365）
 地域住民のつながりを深めるとともに、市内外からの交流人口を拡大するため、イルミネーションの設置や雪灯籠などを製作する。
 実施主体：三和の自然と地域を育む会
- ・雪を活かしたまちづくり推進事業（名立区）（502）
 雪を活かした冬期間のまちづくりを進め、区内の一体感醸成や賑わいを創出するため、名立区不動地区を会場に、雪像の制作やキャンドルを灯す「不動ミニキャンドルロード」を実施する。
 実施主体：輝く里不動の会
- ・名立ウォーキングツーリズム事業（名立区）（229）
 うみてらす名立を起終点としたまちなか回遊による交流人口の拡大を図るため、まちあるきマップの作成や宿場町時代のお宝等の展示、遊歩道の整備などを実施する。
 実施主体：ふるさと名立のくらしと文化伝統を語り継ぐ会
- ・名立区の魅力を創造し発信する事業（名立区）（680）
 名立区の魅力を市内外へ発信するため、宇山を整備し、山桜の観察会を行うほか、謙信公祭での狼煙上げや名立区の風景を題材とした写真撮影会及びコンテストを実施する。
 実施主体：特定非営利活動法人名立の100年後を創造する会

歳出科目 (P 262～P 263)	7 款 1 項 3 目	観光交流費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
イベント推進費	129,734	136,871	△7,137

主な財源		主な経費	
財産収入	21,443	報酬	348
一般財源	108,291	旅費	12
		需用費	7
		使用料及び賃借料	491
		負担金補助及び交付金	128,876

高田城址公園観桜会など当市を代表するイベントを各実行組織と連携して開催し、市民の地域への誇りと愛着、一体感を育み、多様な交流機会の創出と市内経済の活性化につなげる。

○観桜会事業 71,801

【目的】

高田城址公園観桜会を開催することにより、市民の地域への誇りと愛着を高めるとともに、交流人口の拡大と市内経済の活性化を図る。

【5年度目標】

入込数の実績及び目標

(単位：人)

	元年度 (第94回)	2年度 (第95回)	3年度 (第96回)	4年度 (第97回)	5年度(目標) (第98回)
入込数	1,205,000	128,000	200,000	395,000	600,000

【実施内容】

<第98回高田城址公園観桜会>

- ・開催日 令和5年3月29日(水)～4月12日(水)
- ・会場 高田城址公園
- ・事業主体 上越市、公益社団法人上越観光コンベンション協会、上越商工会議所
- ・事業内容 ぼんぼりの設置、会場内・桜・西堀橋のライトアップ、花火の打ち上げ、シャトルバスの運行等を行う。
- ・事業費(開催期間中の令和5年度に係る費用)

項目	事業費	内容
負担金補助及び交付金	56,349	観桜会事業補助金
合計	56,349	

<第99回高田城址公園観桜会>

- ・開催日 令和6年3月29日(金)～4月14日(日)(予定)
- ・事業費(開催期間中の令和5年度に係る費用)

項目	事業費	内容
報酬	145	会計年度任用職員報酬
旅費	5	会計年度任用職員費用弁償
負担金補助及び交付金	15,302	観桜会事業補助金
合計	15,452	

・債務負担行為の設定

第99回高田城址公園観桜会の会期を令和6年3月29日（金）～4月14日（日）（予定）としていることから、債務負担行為を設定するもの

・観桜会事業補助金全体額 76,434

・年度別事業費

	事業費
令和5年度	15,302
令和6年度 (債務負担行為設定額)	61,132
合計	76,434

○上越まつり事業 50,484

【目的】

高田・直江津祇園祭及び謙信公祭を開催することにより、地域への誇りと愛着、一体感を育み、交流人口の拡大と市内経済の活性化を図る。

【5年度目標】

入込数の実績及び目標

(単位：人)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (目標)
高田地区	142,000	中止	中止	1,000	80,000
直江津地区	196,000	中止	中止	107,000	120,000
春日地区	153,900	765	1,965	30,700	64,000

【実施内容】

・事業主体 上越まつり委員会（公益社団法人上越観光コンベンション協会、高田祇園まつり奉賛会、直江津祇園祭協賛会、謙信公祭協賛会）

<高田・直江津祇園祭の開催>

・開催日 7月23日（日）～29日（土）

・会場 高田、直江津地区

・事業内容 民踊流し、みこしの川下り、花火大会、御饌米奉納、小中学校マーチングパレード等を行う。

<謙信公祭の開催>

・開催日 8月18日（金・前夜祭）、19日（土）、20日（日）

・会場 春日地区

・事業内容 狼煙上げ、民謡流し、みこし巡行、出陣行列、川中島合戦の再現等を行う。

○観蓮会事業 2,766

【目的】

市民が「東洋一の蓮」と語り伝えてきた歴史や、蓮に対する市民の誇りや愛着を大切にしながら、イベントとしての魅力向上を図り、交流人口の拡大と市内経済の活性化を図る。

【5年度目標】

入込数の実績及び目標

(単位：人)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (目標)
入込数	198,000	49,000	57,000	44,000	57,000

【実施内容】

- ・開催日 7月15日(土)～8月20日(日)
- ・会場 高田城址公園ほか
- ・事業主体 高田城址公園観蓮会実行委員会
- ・事業内容
 - ・ボランティアガイドによる観光案内所の設置、高田本町商店街への周遊企画など多彩な催しを行う。
 - ・ポスターやパンフレットの作成、SNS広告等の宣伝活動を行う。

○レルヒ祭事業 4,683

【目的】

「日本スキー発祥の地・上越市」を広く発信するとともに、レルヒ少佐の故郷・オーストリアの雪国の暮らしや食の文化など魅力を楽しみ、伝える機会とすることにより、冬季の交流人口の拡大と市内経済の活性化を図る。

【5年度目標】

入込数の実績及び目標

(単位：人)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (目標)
入込数	8,100	1,900	1,482	4,400	7,000

【実施内容】

- ・開催日 令和6年2月3日(土)、4日(日)
- ・会場 金谷山スキー場、高田本町商店街ほか
- ・事業主体 レルヒ祭実行委員会
- ・事業内容
 - ・一本杖スキー、雪中行軍、現代スキーのデモンストレーションやレルヒ検定によるスキー文化の伝承を始め、スノーアクティビティ体験、やオーストリアビールブースなど、雪国の食文化を楽しむイベントを実施する。
 - ・高田本町商店街において食を中心とした関連イベントを実施し、金谷山と市街地との連携を図る。

※令和5年度のうち、一部の経費は7款1項1目の露店市場運営事業へ移行

提出課	施設経営管理室
-----	---------

歳出科目 (P 262～P 265)	7 款 1 項 3 目	観光交流費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
直江津屋台会館管理運営費	9,705	3,642	6,063

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	202	需用費	1,824
財産収入	3	役務費	62
諸収入	62	委託料	2,799
一般財源	9,438	使用料及び賃借料	59
		工事請負費	4,961

【目的】

直江津祇園祭の屋台を保管するとともに、貸館施設としての利用促進や観光情報の発信を行い、伝統文化の保存と地域の活性化を図る。

【5年度目標】

利用実績及び目標

(単位：人)

年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (12月末現在)	5年度 (目標)
利用者数	9,684	2,836	5,590	4,860	8,000

【実施内容】

- ・需用費 1,824 (電気料金、ガス料金、水道料金、営繕修繕料)
- ・役務費 62 (電話料)
- ・委託料 2,799 (警備、電気保安、建築設備定期点検等)
- ・使用料及び賃借料 59 (エアコン借上料、下水道使用料)
- ・工事請負費 4,961 (排煙窓改修工事)

※上越観光コンベンション協会の事務所として貸付けることから、同協会と連携した施設の利用促進や観光情報の発信に資する取組を実施する。

【施設の概要】

- ・所在地 西本町4丁目18番12号
- ・設置 平成6年度
- ・構造 鉄骨造1階建て
- ・施設内容 イベントホール、広場、保存・展示庫
- ・面積 延床1,489.26㎡
- ・管理 直営(業務委託)
- ・利用形態 直江津祇園祭屋台の保管、貸館施設

歳出科目 (P264～P265)	7款1項3目	観光交流費
------------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
金谷山公園管理運営費	51,214	89,272	△38,058

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	3,153	需用費	10,947
諸収入	15	役員費	230
一般財源	48,046	委託料	30,627
		使用料及び賃借料	2,010
		工事請負費	6,367
		備品購入費	654

【目的】

恵まれた自然環境の中で健全な余暇活動の場を提供できるよう、金谷山スキー場や上越市バイシクルモトクロス場（BMX場）を含む金谷山公園を適切に管理し、誘客促進を図る。

【5年度目標】

利用実績及び目標

(単位：人)

年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (12月末現在)	5年度 (目標)
ボブスレー利用者数	15,035	5,984	9,140	10,615	11,000
スキーリフト利用者数	0	3,085	4,202	0	4,000
BMX場コース利用者数	1,841	452	1,506	1,069	1,200
合計	16,876	9,521	14,848	11,684	16,200

【実施内容】

- ・旅費 11 (職員出張旅費)
- ・需用費 10,947 (消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料)
- ・役員費 230 (ゲレンデ整備車・スノーモービル賠償責任保険料等)
- ・委託料 30,627 (施設管理、金谷山公園運營業務)
- ・使用料及び賃借料 2,010 (圧雪車借上料、土地借上料等)
- ・工事請負費 6,367 (第2リフト制動装置整備工事、白幡山斜面土のう設置工事等)
- ・原材料費 200 (諸資材費)
- ・備品購入費 654 (刈払機、金谷山公園防犯カメラ)
- ・負担金補助及び交付金 168 (北陸信越山岳観光索道協会負担金等)

※施設設備の老朽化に伴い、計画的な施設の整備及び更新を行うため、地域、関係団体等と今後の金谷山公園のあり方を検討する。

※BMX場の利用促進を図るため、関係団体と連携し、初心者向け講習会等を開催する。

【施設の概要】

○金谷山スキー場

- ・所在地 大字大貫 595 番地 2
- ・設置 昭和 56 年度
- ・施設内容
ゲレンデ：コース 3 本（最長滑走距離 640m）、そり遊びエリア
リフト：シングル 1 基
管理棟：鉄筋コンクリート造 2 階建て 58.00 m²
監視所：木造 1 階建て 6.55 m²、木造 1 階建て 3.27 m²
公衆トイレ：鉄筋コンクリート造 1 階建て 21.38 m²、
木造 1 階建て 28.23 m²
- ・営業期間 1 月中旬～3 月中旬（シーズン中は無休）
- ・管理 直営（業務委託）
- ・利用形態 スポーツ・レクリエーション施設

○金谷山スーパーボブスレー

- ・所在地 大字大貫 595 番地 2
- ・設置 昭和 56 年度
- ・施設内容 コース：1 本、延長 450m
- ・営業期間 4 月下旬～10 月 31 日の土曜・日曜・祝日、夏休み期間
- ・管理 直営（業務委託）
- ・利用形態 スポーツ・レクリエーション施設

○上越市 BMX 場

- ・所在地 大字大貫 698 番地 1
- ・設置 平成 10 年度
- ・施設内容
コース：延長約 350m
休憩施設：鉄筋コンクリート造 2 階建て 26.39 m²
公衆トイレ：木造 1 階建て 34.78 m²
- ・営業期間 4 月下旬～10 月 31 日の土曜・日曜・祝日、お盆期間
- ・管理 直営（業務委託）
- ・利用形態 スポーツ・レクリエーション施設

歳出科目（P264～P265）	7款1項3目	観光交流費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
雪国文化村リゾート推進事業	724,335	90,263	634,072

主な財源		主な経費	
市債	613,800	需用費	59,844
一般財源	110,535	工事請負費	659,736
		役務費	454
		備品購入費	1,919
		使用料及び賃借料	2,382

【目的】

安全安心の利用を確保するための適切な施設の維持・整備を行うことにより、スキーを始め年間を通じて野外スポーツ等を楽しめる観光拠点とする。

【5年度目標】

- ・雪だるま高原施設を適切に維持管理し、受入環境の向上を図るとともに、重大事故の発生をゼロとする。
- ・令和4年度に策定した将来計画に基づき、新第2リフト建設事業を着実に推進する。

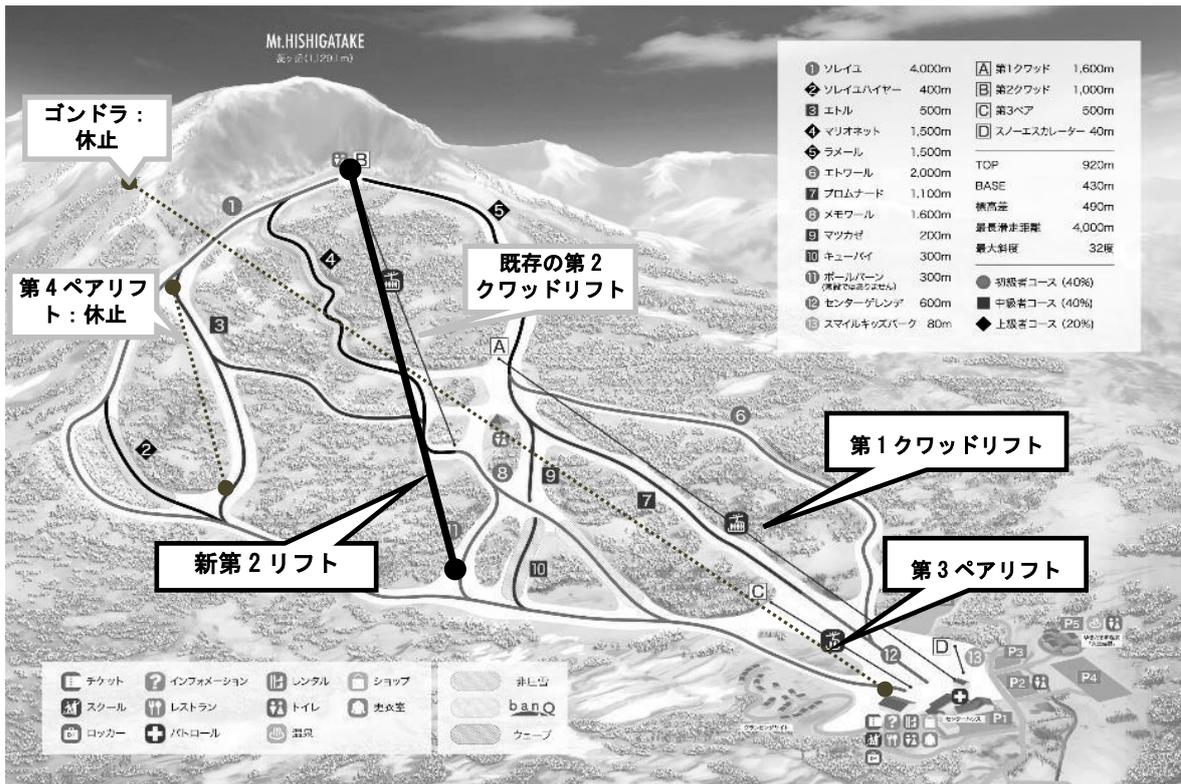
【実施内容】

- ・需用費 59,844（リフト機器部品購入、圧雪車基本整備・修繕、一般修繕等）
- ・役務費 454（Wi-Fi回線使用料、ショベルローダー車検手数料等）
- ・使用料及び賃借料 2,382（AED機器借上、除雪重機借上、国有林借地）
- ・工事請負費 659,736（新第2リフト建設工事、第1クワッドリフト通信ケーブル更新・原動設備ユニバーサルジョイント更新・山頂出発場内走行レール等修繕工事）
- ・備品購入費 1,919（ごみ置き場プレハブ購入）

【施設の概要】

- ・所在地 安塚区須川地内
- ・設置 平成2年度
- ・施設内容
 - スキー場 ゲレンデ面積48ha
 - 索道施設 ゴンドラ：1基 ※令和2年度から休止
リフト：4基 ※平成28年度から第4ペアリフト休止
 - 宿泊施設 コテージ：20棟（管理棟含む）50室
久比岐野：和室7室、洋室8室 ※令和2年度から休止
 - 体験施設 ふれあい昆虫館 ※令和2年度から休止
棚田動植物公園：面積2ha
 - 温泉施設 久比岐野新館（日帰り温泉）
- ・管理 指定管理
- ・利用形態 日帰り及び宿泊施設

[新] 新第2リフト建設工事の概要



ゴンドラ及び第4ペアリフトを今後も休止とし、第2クワッドリフトを更新・延伸することで、スキー場運営の効率化を図る。

[効果]

- (1) 運行コストの軽減 (リフト5本を3本に減らすダウンサイジング)
- (2) 維持管理費の軽減 (既存の第2クワッドリフトは、部品等に汎用性がなく、維持費が割高。また、経年劣化により、施設全体の大規模改修が必要)
- (3) ゲレンデの利便性・効率性と魅力度の向上
- (4) 過疎債活用による一般財源の圧縮

[新第2リフトの主な仕様]

- リフト長 1,600m (現状1,000m)
- 索道方式 単線自動循環式高速リフト
- 搬器定員 4人以上 (現状4人)

[工事事業者決定方法]

事業は設計・施工一括発注方式とし、総合評価一般競争入札により業者を決定

[工事期間]

令和5年度～7年度 (3年間)

[事業費]

総事業費 15億3,450万円 (税込)

[スケジュール (予定)]

- 令和5年4月～7月 総合評価一般競争入札により設計・施工事業者を選定
- 9月 市議会9月定例会に工事請負契約提案
- 10月 着工 ※積雪期は工事を中止
- 令和6年度 建設工事、既存の第2クワッドリフト撤去
- 令和7年5月 建設工事 (制御装置他の残工事)
- 12月 新第2リフト開業

歳出科目 (P 264～P 265)	7 款 1 項 3 目	観光交流費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
大島庄屋の家管理運営費	24,996	23,623	1,373

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	3,471	一般財源	6,206
諸収入	11,319	需用費	11,899
市債	4,000	役務費	757
		委託料	11,505
		使用料及び賃借料	521
		備品購入費	205
		公課費	57

【目的】

豊かな自然と日本の原風景、そこに生きる人々の暮らしや文化をいかした「体験型観光」の受入れを推進することにより、都市部の住民と地域住民との交流を促進し、地域経済の活性化を図る。

【5年度目標】

利用実績及び目標

(単位：人)

年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (12月末現在)	5年度 (目標)
利用者数	3,611	1,011	819	1,880	3,315
うち宿泊者数	1,235	194	86	600	1,145
うち日帰り者数	2,376	817	733	1,280	2,170

【実施内容】

- ・旅 費 34 (営業活動旅費)
- ・需用費 11,899 (消耗品費、燃料費、電気料金、水道料金、修繕料、賄材料費等)
- ・役務費 757 (電話料、車検手数料、水質検査手数料、クリーニング手数料等)
- ・委託料 11,505 (施設管理運営、総合污水处理施設維持管理等)
- ・使用料及び賃借料 521 (複写機借上料、機械借上料、清掃用具借上料等)
- ・備品購入費 205 (液晶テレビ等)
- ・負担金補助及び交付金 18 (大島区テレビ共同受信施設組合負担金等)
- ・公 課 費 57 (自動車重量税)

【施設の概要】

- ・所在地 大島区田麦 1096 番地 2
- ・設 置 宿泊棟：平成 3 年度
体験棟：平成 5 年度
- ・構 造 宿泊棟：鉄筋コンクリート造 2 階建て
体験棟：木造一部 2 階建て
- ・施設内容 宿泊棟：客室 7 室、食堂、浴室 2 室
体験棟：広間、調理体験室、座敷、奥座敷
- ・面 積 延床 967.07 m² (宿泊棟 711.56 m²、体験棟 255.51 m²)
- ・管 理 直営 (業務委託)
- ・利用形態 日帰り及び宿泊施設

歳出科目 (P264～P267)	7款1項3目	観光交流費
------------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
牧ふるさと村自然と憩の森管理運営費	3,529	2,717	812

主な財源		主な経費	
諸収入	425	需用費	1,334
市債	1,400	役務費	50
一般財源	1,704	委託料	1,831
		使用料及び賃借料	19
		負担金補助及び交付金	295

【目的】

豊かな自然と田舎の生活文化に触れる憩いの場を提供することにより、交流人口の拡大と地域の活性化を図る。

【5年度目標】

利用実績及び目標

(単位：人)

年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (12月末現在)	5年度 (目標)
利用者数	7,276	4,884	7,043	6,844	7,500

【実施内容】

- ・需用費 1,334 (消耗品費、電気料金、水道料金、修繕料)
- ・役務費 50 (電話料、浄化槽検査手数料)
- ・委託料 1,831 (施設管理、浄化槽維持管理、消防設備点検、建築設備定期点検、屋根裏清掃)
- ・使用料及び賃借料 19 (内線電話配線共架料、テレビ受信料)

※平成27年度から「ふるさとアピール館」を休止しているが、地元団体から、イベントや地域の交流事業などでの施設使用希望があり、平成30年度から施設の一部の使用を許可している。

[新]○地域独自の予算事業 295

- ・沖見地区観光拠点づくり事業 (牧区)

沖見地区の玄関口である「ふるさと村自然と憩の森」を地域の観光拠点とするため、花の植栽や遊歩道の整備を行うことで区内外からの来訪者を誘客する。

実施主体：レストハウス「けやき」周辺整備の会

【施設の概要】

- ・所在地 牧区池舟2番地
- ・設置 昭和53年度
- ・施設内容 ふるさとの家：木造2階建て
ふるさとアピール館：木造2階建て ※平成27年度から休止
- ・面積 延床631.81㎡ (ふるさとの家214.5㎡、ふるさとアピール館417.31㎡)
- ・管理 直営 (業務委託)
- ・利用形態 体験研修施設

歳出科目 (P266～P267)	7款1項3目	観光交流費
------------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
牧ふれあい体験交流施設管理運営費	2,824	2,904	△80

主な財源		主な経費	
諸収入	65	報酬	12
市債	1,100	旅費	1
一般財源	1,659	需用費	1,067
		役務費	39
		委託料	1,489
		使用料及び賃借料	216

【目的】

地域の特性及び資源を活用した体験型観光施設として、都市部の住民との交流促進を図る。

【5年度目標】

利用実績及び目標

(単位：人)

年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (12月末現在)	5年度 (目標)
利用者数	2,315	725	986	725	1,000

【実施内容】

- ・報酬 12 (会計年度任用職員報酬)
- ・旅費 1 (会計年度任用職員費用弁償)
- ・需用費 1,067 (消耗品費、燃料費、電気料金、水道料金、修繕料)
- ・役務費 39 (電話料)
- ・委託料 1,489 (施設管理、ボイラー保守点検、消防設備点検、建築設備定期点検)
- ・使用料及び賃借料 216 (機械借上料、除雪車借上料、LPガス供給設備借上料、集落排水使用料)

【施設の概要】

- ・所在地 牧区原 991 番地
- ・設置 平成 11 年度
- ・構造 木造 2 階建て
- ・施設内容 研修室 1 室、ミーティングルーム 1 室、体験調理室・実習室 1 室、ホール 1 室、ふれあい広場
- ・面積 延床 568.34 m²
- ・管理 直営 (業務委託)
- ・利用形態 研修集会施設

歳出科目 (P 266～P 267)	7 款 1 項 3 目	観光交流費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
道の駅よしかわ杜氏の郷管理運営費	10,263	9,975	288

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	10	一般財源	9,913
財産収入	8	需用費	5,457
諸収入	332	役務費	82
		委託料	4,428
		使用料及び賃借料	212
		原材料費	37
		負担金補助及び交付金	47

【目的】

道の駅として施設を訪れる観光客等の「休憩場所の確保」と「利用しやすい環境整備」を行うとともに、地域の特産品や観光情報を発信することにより、交流人口の増加と地域の活性化を図る。

【5年度目標】

利用実績及び目標

(単位：人)

年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (12月末現在)	5年度 (目標)
利用者数	80,703	72,040	77,875	65,631	80,000

【実施内容】

- ・需用費 5,457 (消耗品費、電気料金、水道料金、修繕料)
- ・役務費 82 (W i - F i 使用料)
- ・委託料 4,428 (施設管理、消防設備点検、自動ドア保守点検)
- ・使用料及び賃借料 212 (農業集落排水使用料)
- ・原材料費 37 (諸資材)
- ・負担金補助及び交付金 47 (道の駅連絡会負担金)

※地域、関係団体等で構成する「道の駅よしかわ杜氏の郷活性化検討会」において、当該施設の活性化に資する取組や活動計画を検討する。

【施設の概要】

- ・所在地 吉川区杜氏の郷1番地
- ・設置 平成15年度
- ・施設内容 情報発信施設：木造1階建て 218.14 m²
公衆トイレ：木造1階建て 69.71 m²
駐車場 265台
- ・管理 直営(業務委託)
- ・利用形態 休憩施設等

歳出科目 (P 266～P 267)	7 款 1 項 3 目	観光交流費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
坊ヶ池周辺施設管理運営費	7,542	3,911	3,631

主な財源		主な経費	
諸収入	1,934	需用費	1,791
一般財源	5,608	役員費	65
		委託料	1,889
		使用料及び賃借料	387
		工事請負費	3,410

【目的】

坊ヶ池湖畔公園を安全に利用できるように維持管理するとともに、地元団体が、休止施設を交流事業などで適切に使用できる状態を確保する。

【実施内容】

- ・需用費 1,791 (消耗品費、燃料費、電気料金、水道料金、修繕料)
- ・役員費 65 (電話料、浄化槽検査手数料)
- ・委託料 1,889 (消防設備点検、屋根雪等除雪、浄化槽維持管理等)
- ・使用料及び賃借料 387 (除雪重機借上料、敷地借上料)
- ・工事請負費 3,410 (坊ヶ池湖畔公園東屋 (八角堂) 解体工事)

※山荘京ヶ岳、フォークハウス湖畔は、平成 29 年度から休止しているが、地元団体から、イベントや地域の交流事業などでの施設使用希望があり、山荘京ヶ岳新館の一部 (大広間・厨房) の使用を許可している。

【施設の概要】

- ・所在地 清里区青柳 3438 番地
- ・設置 山荘京ヶ岳 本館：平成 2 年度
山荘京ヶ岳 新館：平成 6 年度
フォークハウス湖畔：平成元年度
- ・施設内容 山荘京ヶ岳 本館：木造 2 階建て ※平成 29 年度から休止
山荘京ヶ岳 新館：木造一部鉄筋コンクリート造 地上 2 階地下 1 階建て
※平成 29 年度から休止
フォークハウス湖畔：鉄筋コンクリート造 3 階建て
※平成 29 年度から休止
坊ヶ池湖畔公園 炊事場・トイレ
- ・面積 延床 1,903.39 m² (本館 499.44 m²、新館 1,036.05 m²、湖畔 367.9 m²)
- ・管理 直営
- ・開設期間 坊ヶ池湖畔公園 4 月下旬～10 月 31 日
- ・利用形態 公園施設

歳出科目 (P 266～P 267)	7 款 1 項 3 目	観光交流費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
シーサイドパーク名立管理運営費	19,993	21,160	△1,167

主な財源			主な経費				
使用料及び手数料	3,816	市債	2,200	報酬	7,075	使用料及び賃借料	645
県支出金	450	一般財源	13,506	需用費	3,649	工事請負費	3,742
諸収入	21			委託料	1,409	備品購入費	3,003

【目的】

名立区の自然をいかした余暇活動や心身の健康の保持及び増進の場として、当施設を適切に維持管理し、周辺施設を含めた利用客の増加を促す。

【5年度目標】

利用実績及び目標

(単位：人)

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 (目標)
利用者数	14,755	8,313	13,639	16,121	15,000

【実施内容】

- ・報酬 7,075 (会計年度任用職員報酬)
- ・旅費 223 (会計年度任用職員費用弁償)
- ・需用費 3,649 (消耗品費、燃料費、電気料金、水道料金、修繕料)
- ・役務費 196 (電話料、浄化槽検査、車検基本点検料等)
- ・委託料 1,409 (浄化槽維持管理、受水槽清掃点検、遊具安全点検等)
- ・使用料及び賃借料 645 (土地借上料、券売機借上料、ユニットハウス借上料等)
- ・工事請負費 3,742 (トイレ洋式化等改修工事、給水ポンプ入替工事)
- ・備品購入費 3,003 (ボブスレースレッド購入)
- ・公課費 51 (自動車重量税)

【施設の概要】

- ・所在地 名立区名立小泊 798 番地 1
- ・設置 平成 5 年度
- ・施設内容
 - ビッグボブスレー：全長 470m ローラースライダー：全長 190m
 - アスレチック：木製 15 基 芝生広場：1,200 m²
 - 展望台：木造地上 2 階地下 1 階建て 299.42 m²
 - バーベキューハウス：木造 1 階建て 78.67 m²
 - 休憩棟：木造 1 階建て 57.97 m²
 - 管理棟：木造 1 階建て 132.2 m² 等
- ・面積 約 35ha
- ・営業期間 4 月中旬～10 月 31 日の土曜・日曜・祝日
※夏休みは金～日曜・祝日。ただし、お盆期間は無休
- ・管理 直営
- ・利用形態 公園施設

歳出科目 (P 266～P 269)	7 款 1 項 3 目	観光交流費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
光ヶ原高原観光総合施設管理運営費	7,066	3,064	4,002

主な財源		主な経費	
諸収入	233	需用費	2,861
一般財源	6,833	役員費	184
		委託料	1,298
		使用料及び賃借料	682
		負担金補助及び交付金	2,041

【目的】

光ヶ原高原センターや周辺施設を適切に維持管理するとともに、地元団体が、それらの施設を有効活用し、光ヶ原高原、関田山脈の魅力を伝えることができる状態を確保する。

【実施内容】

- ・需用費 2,861 (消耗品費、電気料金、修繕料)
- ・役員費 184 (電話料、浄化槽検査、水質検査)
- ・委託料 1,298 (除草、浄化槽管理、消防設備等点検等)
- ・使用料及び賃借料 682 (用水使用料、土地借上料)

[新]○地域独自の予算事業 2,041

- ・ベース・キャンプ in 光ヶ原高原事業 (板倉区)

光ヶ原高原をアウトドアのベース・キャンプと位置付け、交流人口の増加を図るため、キャンプ場の運営のほか、信越トレイルの道標の整備やイベントなどを実施する。

実施主体：光ヶ原高原ファン倶楽部

提出課	観光交流推進課
-----	---------

歳出科目（P 268～P 269）	7 款 1 項 3 目	観光交流費
-------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
観光企画費	71,686	58,993	12,693

主な財源		主な経費	
県支出金	752	旅費	1,487
諸収入	40	需用費	12,082
一般財源	70,894	役員費	1,415
		委託料	38,033
		負担金補助及び交付金	
			15,355

上越市観光交流ビジョンに掲げた将来のありたい姿を、市民や事業者などと共有しながら、観光PRや旅行者の受入環境の整備など、様々な取組を一体となって進めることにより、一年を通じて楽しい交流が生まれる観光地域づくりを推進する。

○観光地域づくり実践事業 1,534

【目的】

上越市観光交流ビジョンの趣旨と実践の更なる普及により、来訪者との交流を楽しむことのできる観光地域づくりを進める。

【5年度目標】

観光コンテンツづくりやSNSを活用した情報発信を推進し、観光の担い手による更なる実践を促す。

【実施内容】

- ・観光振興に意欲的に取り組む事業者等が実践的な知識や技術を習得するとともに、互いに連携を深める場として、引き続き、観光地域づくり実践未来塾を開講し、当市の観光資源をいかした観光コンテンツづくりを支援する。
- ・市民自らが当市の魅力を発信しようとする気運を高めるため、SNSを活用した「#（ハッシュタグ）上越もようフォトコンテスト」を実施するとともに、投稿写真を観光PR素材として積極的に活用する。

○地域活性化起業人事業 5,600

【目的】

国の地域活性化起業人制度を活用し、当市の魅力や価値の向上を図るとともに、上越市観光交流ビジョンに基づいた取組を推進する。

【5年度目標】

令和4年度に引き続き観光関連企業から職員の派遣を受け、地域資源をいかしたプログラム開発やプロモーションの強化、マーケティング技術の普及を図る。

【実施内容】

- ・株式会社阪急交通社から職員の派遣を受け、上越観光コンベンション協会と連携し、市内事業者や団体等による地域資源をいかした旅行商品などのプログラム開発や派遣元の人脈をいかしたプロモーションの強化、データなどを活用したマーケティング技術の検討や普及に向けた取組を行う。

[新]○観光交流ビジョン検討事業 290

【目的】

令和5年度をもって計画期間が終了する上越市観光交流ビジョンを改定する。

【5年度目標】

当市ならではの観光地域づくりに向け、市民が共有したいビジョンに焦点を当てた「上越市観光交流ビジョン」について、通年観光の位置付けや方向性を加えた内容とするなど、必要な見直しを行う。

【実施内容】

- ・学識経験者、観光関係団体等から上越市観光交流ビジョン検討委員を選任し、計画内容への意見を踏まえ、改定作業を進める。

○観光営業事業 7,083

【目的】

姉妹都市、交流都市及び広域連携など自治体間の協力や、旅行事業者などとの連携による観光PRを通じて誘客を促進し、地域経済への波及効果を高める。

【5年度目標】

旅行事業者への商品造成に向けた営業活動を実施するとともに、北陸新幹線の延伸による福井県と関東方面からの誘客促進するため、当市の歴史・文化や観光資源の発信を強化する。

【実施内容】

公益社団法人上越観光コンベンション協会及び市内事業者、マスメディア等と連携し、当市への観光誘客に向けた取組を行う。

- (1) 首都圏・関西圏・近隣地域（県内、長野県等）での観光営業活動及び姉妹都市や北陸新幹線沿線自治体等での観光PR活動等（962）

- ・県観光協会等が主催する観光商談会や観光PRイベントへの参加
- ・関西圏、近隣地域の旅行事業者等への営業活動
- ・姉妹都市や北陸新幹線沿線都市、集客プロモーションパートナー都市などで開催される集客イベントでの観光PR活動

- (2) 観桜会における観光PR活動（351）

- ・JR東日本が運行する臨時列車「高田お花見号」利用客への観光PR
- ・近隣市や北陸新幹線沿線都市との連携による観光PRブースの設置

- (3) 上越妙高駅新幹線改札前PRスペースでの情報発信（160）

- ・JR東日本が情報発信拠点として整備したスペースを活用し、駅利用者に対し当市の集客イベントや観光素材をPR

- [新](4) 関東方面における観光PR活動（3,734）

- ・当市の知名度向上と誘客の促進、地場産品の販路拡大を図るため、横浜市で開催されるイベントに参加する。

- [新](5) 北陸新幹線敦賀延伸記念事業（1,500）

- ・北陸新幹線の敦賀延伸を祝うほか、当市を目的地とした旅行商品の造成により誘客促進を図るため、福井県内の旅行事業者を対象としたモニターツアーを実施する。

- (6) 観光PR用品の購入及びその他事業関係費（376）

○各種団体等との連携事業 5,236

【目的】

県内外の自治体や観光事業者と連携し、情報収集や共同事業を実施することにより交流人口の拡大と市内経済の活性化を図る。

【5年度目標】

アフターコロナにおける国内外の観光産業の動向や、令和5年度末に予定されている北陸新幹線の敦賀延伸を見据え、県内外の関係自治体や観光事業者と連携し、より効果的な情報発信や域内周遊の促進に向けた取組を進める。

【実施内容】

- (1) ほくほく線沿線地域振興連絡協議会負担金（1,221）
 - ・団体の目的
ほくほく線の利用促進を図ることにより、沿線地域の発展に寄与する。
 - ・団体の活動
沿線地域への誘客に向けた営業活動、Facebookの運用、沿線情報誌の発行（年3回）、案内看板の維持管理など
- (2) 新潟県観光協会負担金（1,692）
 - ・団体の目的
観光に関する調査研究、観光情報の提供、誘客宣伝活動等の観光振興に関する事業を行い、新潟県経済の持続的な発展と県民が誇りと愛着を持つことができる活力に満ちた地域社会づくりの実現に寄与する。
 - ・団体の活動
観光に関する調査研究、ホームページによる観光情報の提供、商談会や観光PRイベントの開催など
- (3) 新潟県国際観光テーマ地区推進協議会負担金（131）
 - ・団体の目的
新潟県内への外国人旅行者誘致に必要な事業を行う。
 - ・団体の活動
広域誘客活動推進事業、旅行商品造成事業、受入態勢整備事業など
- (4) にいがたスキー100年委員会負担金（166）
 - ・団体の目的
スキー場のイメージアップを図るために必要な情報を発信することにより、県内のスキー観光の振興と地域の活性化に寄与する。
 - ・団体の活動
スキーに係る基礎情報の整備、各種メディアを活用した情報収集・情報発信など
- (5) 上信越ふるさと街道協議会負担金（10）
 - ・団体の目的
長野県・群馬県・新潟県にまたがる各街道沿線の自治体、観光協会、商工会議所、商工会との連帯・協調により、地域の活力の造成と振興を図る。
 - ・団体の活動
街道及び関係地域の宣伝、関係地域の交流推進など
- (6) 北陸新幹線停車駅都市観光推進会議負担金（400）
 - ・団体の目的
北陸新幹線の延伸を見据え、停車駅（延伸後の停車駅を含む）の13都市（上越市、金沢市、高岡市、富山市、黒部市、糸魚川市、飯山市、長野市、上田市、佐久市、高崎市、小松市、加賀市）が有する観光資源を有効に活用し、観光の広域的振興を図ることにより、当該都市間の交流人口の拡大及びまちの活性化に寄与する。
 - ・団体の活動
構成都市間における観光を通じた交流を図るための事業、国内外からの誘客推進事業、広域観光の振興を図るための共同研究など

- (7) 日本さくらの会負担金 (10)
- ・団体の目的
国花である「桜」を愛する心を広く国民に呼びかけ、その恒久的な保存、育成及び普及の方策を研究し、「桜」による国土の美化や国際親善に寄与する。
 - ・団体の活動
桜の愛護、保全、普及活動や桜の名木、巨木、名所の顕彰と保護など
- (8) 新潟県観光ファンづくり推進協議会負担金 (766)
- ・団体の目的
「新潟県観光立県推進行動計画」に基づく誘客施策を展開するため、オール新潟の組織を立ち上げ、繰り返し訪れてもらえる持続可能な観光地域づくりを目指す。
 - ・団体の活動
新潟観光ファンづくりに関する事業、ファンから得られるデータを活用したデジタルマーケティングに関する事業、教育旅行の誘致促進に関する事業など
- (9) 北アルプス日本海広域観光連携会議負担金 (577)
- ・団体の目的
北陸新幹線糸魚川駅を中心とした周辺市町村（上越市、糸魚川市、富山県朝日町、長野県小谷村・白馬村・大町市）及び関係団体との広域観光連携を推進する。
 - ・団体の活動
周遊型広域観光商品の開発と販売促進活動、連携した情報発信など
- (10) 関東観光広域連携事業推進協議会負担金 (100)
- ・団体の目的
関東地域（新潟県、長野県、福島県を含む）における外国人旅行者の受入環境整備の推進及び関東の国際的な観光認知度の向上を図る。
 - ・団体の活動
外国人旅行者の誘客のための各種取組（動態調査、モニターツアー、プロモーション事業、情報発信、インバウンドセミナー等）
- (11) 新潟県スキー観光産業振興協議会負担金 (2)
- ・団体の目的
県内のスキー場及び関連する観光産業を振興することにより、地域経済の発展に寄与する。
 - ・団体の活動
県内のスキー場への誘客に向けた動画配信や各種イベントでの情報発信など
- (12) 会議等出席旅費等 (161)

○上越地域連携事業 2,027

【目的】

上越地域 3 市（上越市、妙高市、糸魚川市）と県が連携し、上越地域の魅力の発信やそれらを活用した広域連携事業の実施により、交流人口の拡大を図る。

【5年度目標】

上越地域の魅力ある観光資源を組み合わせ、広域周遊観光に寄与する取組を通じて、地域全体の誘客促進を図る。

【実施内容】

[充](1) 上越地域広域観光パンフレット作成委託料 (1,000)

- ・県内外へ上越・妙高・糸魚川エリアの観光スポット等の魅力を発信するため、広域観光パンフレットを作成する。

- ・令和4年度まで上越市、妙高市の観光スポット等の魅力を発信するための広域観光パンフレットを作成していたが、より広域的な視点で観光誘客を図るため、糸魚川市を加え、上越地域の魅力を市内外に発信する。

(2) 「糸魚川・上越・妙高SEA TO SUMMIT」の開催 (1,000)

- ・自転車を活用した上越・妙高・糸魚川エリアの周遊を促すため、全国各地で開催している株式会社モンベルの環境スポーツイベント「SEA TO SUMMIT」を招致し、実行委員会に参画し事業を実施する。

(3) その他 (27)

- ・上越地域広域観光パンフレットの読者アンケート景品購入費

○佐渡広域観光誘客事業 5,509

【目的】

佐渡市・上越市が連携し、両市を周遊する観光客を増加させることにより、小木直江津航路の活性化と佐渡市・上越市の観光振興を図る。

【5年度目標】

カーフェリーの再就航や、今後、見込まれる「佐渡島（さど）の金山」の世界文化遺産登録を好機と捉え、航路の利用促進を図るとともに市内経済の活性化につなげるため、佐渡市及び当市内の観光関係団体等と連携した情報発信や周遊観光の促進に向けた取組を強化する。

【実施内容】

[充](1) 佐渡市・上越市観光・航路連携協議会負担金 (2,460)

- ・県外からの誘客促進を図るため、PRイベントに参加し、両市の観光プロモーションを行う。
- ・航路の利用促進と両市の観光振興を図るため、小木直江津航路を利用し、両市に立ち寄り又は宿泊を伴う旅行商品を造成する旅行事業者に対し、補助金を交付する。
- ・航路の利用促進並びに市内飲食店等での消費喚起及び市内回遊を促すため、小木直江津航路を利用する市民等を対象に、両市で使えるクーポンを配付する。

[新](2) 宿泊プラン造成支援業務委託料 (2,950)

- ・小木直江津航路の利用と当市内での宿泊を条件とした魅力的な宿泊プランを造成する市内宿泊事業者に対し、費用の一部を支援する。

(3) その他 (99)

- ・新聞広告掲載料
- ・会議等出席旅費
- ・有料道路使用料

○観光宣伝物作成事業 7,350

【目的】

当市の魅力的な観光情報を掲載した宣伝物の作成を通じて、誘客促進を図る。

【5年度目標】

他の自治体が発行しているパンフレットの掲載内容や近年のトレンドを踏まえ、来訪者の目線で分かりやすく、かつ、当市の魅力が十分に伝わる宣伝物を作成する。

【実施内容】

(1) 各種パンフレット等の作成 (6,233)

名 称	内 容	4 年度	5 年度	予算額
総合パンフレット [増刷]	当市への周遊を促す内容の総合 パンフレット	30,000 部	40,000 部	3,520
春日山城跡めぐり [増刷]	春日山城跡の散策を促す内容の パンフレット	30,000 部	40,000 部	924
港町直江津さんぽ [増刷]	直江津エリアの回遊を促す内容の パンフレット	-	60,000 部	1,155
高田まちなか回遊 マップ[増刷]	高田まちなかの回遊を促す内容の パンフレット	-	60,000 部	634

※港町直江津さんぽ及び高田まちなか回遊マップは、隔年作成のため令和 4 年度は実績なし。

(2) イベントチラシの作成及び動画の編集 (350)

- ・簡易なイベント周知用チラシを作成するほか、四季折々の身近な話題を動画に編集し、若年層に向けた情報発信を行い、若年層の誘客を促進する。

(3) J R 首都圏主要駅における掲出用ポスターの作成 (618)

- ・J R 首都圏主要駅に、当市の観光ポスターを掲出することで駅利用者へのイベント情報の発信及び旅行の動機付けを図る。

(4) 上田市・上越市桜まつりポスター作成委託 (149)

- ・姉妹都市の上田市と連携してポスターを作成し、相互送客を促進する。

○謙信公ゆかりの地振興事業 1,518

【目的】

春日山城と上杉謙信公を中心とした上越市の魅力をより一層全国に発信し、誘客を促進するとともに、市民の地域に対する愛着の高揚を促す。

【5 年度目標】

企画展入込数の実績及び目標

(単位：人)

	元年度	2 年度	3 年度	4 年度 (見込)	5 年度 (目標)
入込数	33,312	20,298	22,713	25,445	27,000

【実施内容】

- ・「越後上越 謙信公と春日山城展」の開催
会場：上越市埋蔵文化財センター
時期：通年
内容：春日山観光の拠点として、謙信公の生涯を紹介するパネルやゆかりの品のほか、春日山城の全容が分かるジオラマや映像などを活用した展示
- ・宣伝広告等
上越観光 N a v i 等を活用した宣伝活動のほか、会場への誘導看板設置を行う。

○「越後上越 上杉おもてなし武将隊」事業 27,605

【目的】

戦国時代の名将・上杉謙信公を始め当市にゆかりのある武将等に扮したスタッフが、観光客の出迎えや観光 P R を行うことにより、誘客促進を図るとともに、謙信公に関する伝承・啓発活動を行い、謙信公の遺徳が後世に引き継がれていくことを目指す。

【5年度目標】

春日山城跡での武将隊による対面のおもてなしを通じ、来訪者の満足度向上を図るとともに市外の観光イベント等への出演やY o u T u b e、S N Sなどを活用した魅力発信により、知名度の向上を図る。

【実施内容】

- ・春日山城跡や上越市埋蔵文化財センター等において、武将隊による観光案内や写真撮影などのおもてなしを行う。
- ・市内外での観光PRやイベント出演などに加え、SNSや動画投稿を通じて、「謙信公のふるさと・上越市」を印象付けるとともに、観光情報を全国に発信し誘客促進を図る。

○インバウンド推進事業 1,709

【目的】

外国人旅行者の誘客に向けて、効果的で質の高い情報を発信するとともに、受入態勢の整備を推進することにより、市内事業者や市民の地域への誇りや愛着の醸成及び地域経済の活性化を図る。

【5年度目標】

アフターコロナにおける外国人旅行者の誘客に向け、インバウンド推進協議会の意見を参考にしながら、トレンドに沿った効果的で質の高い情報発信を行うとともに、市内観光事業者等が行う受入態勢の環境整備を支援する。

【実施内容】

- (1) 上越市インバウンド推進事業補助金 (1,000)
 - ・市内の観光事業者が実施する外国人旅行者の受入態勢の整備などの事業に要する経費の一部を補助する。
- (2) 商談会への参加 (480)
 - ・海外の訪日旅行取扱旅行会社等と日本全国の観光事業者が一堂に会する国内最大規模の商談会である「V I S I T J A P A N トラベル&M I C Eマート」へ参加し、上越市をPRする。
- (3) セミナーの開催 (28)
 - ・市民や市内観光事業者を対象に、外国人旅行者へのおもてなしや対応等に関するセミナーを開催する。
- (4) その他事業関係費 (201)

○灯の回廊事業 6,172

【目的】

灯の回廊の開催を支援し、上越ならではの冬のイベントとして発信することにより、市民の地域への誇りと愛着、一体感を醸成するとともに冬季の誘客を図る。

【5年度目標】

入込数の実績及び目標 (単位：人)

	元年度	2年度	3年度	4年度 (見込)	5年度 (目標)
入込数	9,220	7,970	11,930	17,000	18,000

【実施内容】

- ・当市の冬の一大イベントとして、安塚区、大島区、浦川原区、牧区、高土区、名立区、三和区で行われる雪灯りイベントを一体的にPRする。

※三和区は、地域活動支援事業を活用し令和3年度から灯の回廊に合わせてキャンドライイベントを実施しており、令和5年度からは、灯の回廊として、各地区と同様にPRを実施するもの

○信越トレイル利用促進事業 53

【目的】

豊かな自然や文化・歴史が色濃く残る信越トレイルコースを活用することにより、市内への誘客を図る。

【5年度目標】

信越トレイルの測定可能な箇所での利用者数の実績及び目標 (単位：人)

	元年度	2年度	3年度	4年度 (見込)	5年度 (目標)
利用者数	3,952	3,893	3,529	2,817	6,000

【実施内容】

- ・信越トレイルコースと市内観光施設の利用者増加につなげるため、上越観光Naviによる情報発信やパンフレットを設置するなどPRを行う。

※事業先頭頁の「本年度」及び「前年度」の金額は当初予算額である。

ただし、下記の表は、各年度における国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による補正予算の影響額を反映し、実質的な予算比較を表示している。

本年度			前年度			比較
令和4年度1月、3月補正予算額(※)	当初予算額	合計	令和3年度3月補正予算額	当初予算額	合計	
39,866	71,686	111,552	0	58,993	58,993	52,559

※各年度の補正予算額は、国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による額を示す。

歳出科目（P268～P269）	7款1項3目	観光交流費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
越後田舎体験推進事業	8,203	2,629	5,574

主な財源		主な経費	
諸収入	1,945	旅費	12
一般財源	6,258	需用費	585
		委託料	5,545
		使用料及び賃借料	87
		負担金補助及び交付金	
			1,916

【目的】

当市の豊かな自然、農山漁村の地域資源とそこに生きる人々の暮らしをいかした体験型観光を通じて、交流人口の拡大と地域の活性化を図る。

【5年度目標】

情報発信の強化などにより営業活動の充実を図り、受入数40団体以上、3,000人以上、6,000泊以上とする。また、新型コロナウイルス感染症の影響や同感染症の分類引下げに伴うニーズの変化に対応するため、既存コンテンツの磨き上げや新たなコンテンツの造成など、受入体制を整備する。

【実施内容】

[新] (1) 受入体制の維持・強化に係る取組（4,939）

- ・越後田舎体験推進協議会の事務局を担っていた公益財団法人雪だるま財団が解散することに伴い、事務局を公益社団法人上越観光コンベンション協会へ移管する。
- ・移管にあたり、事務局体制の安定化を図るため、業務の一部を委託化する。

(2) 受入地域開拓のための周知、勧誘活動、新たなコンテンツの造成（298）

(3) 各種営業活動、研修会等への参加（618）

- ・首都圏、関西圏、県内他市、近隣県の旅行代理店や学校等へ営業訪問する。

(4) 越後田舎体験推進協議会負担金等の支出（1,886）

(5) 新潟県グリーンツーリズム推進協議会参加費負担金（30）

(6) 越後田舎体験事業での受入れ等に係る消耗品の購入（432）

<越後田舎体験受入数の推移>

	元年度	2年度	3年度	4年度 (見込)	5年度 (目標)
団体数	40	15	35	40	40
人数（人）	3,273	1,004	2,576	2,813	3,000
宿泊数（泊）	6,528	339	1,566	3,518	6,000

提出課	施設経営管理室
-----	---------

歳出科目 (P 268～P 271)	7 款 1 項 3 目	観光交流費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
観光施設等整備事業	135,007	128,599	6,408

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	473	諸収入	5,475
県支出金	5,182	一般財源	123,876
財産収入	1	報酬	792
		需用費	26,495
		役員費	5,931
		委託料	72,042
		使用料及び賃借料	8,316
		工事請負費	9,074

【目的】

市内観光施設を適切に維持管理することにより、当市の豊かな自然と歴史文化に触れる場を提供し、観光誘客と地域振興を図る。

【5年度目標】

各公園や海水浴場等の観光施設を適切に維持管理し、受入環境の向上を図るとともに、施設の瑕疵に起因する重大事故の発生をゼロとする。

【実施内容】

観光施設の適切な維持管理を行い、利用者の安全・安心の確保及び満足度の向上を図る。

〔合併前上越市〕 88,696

<主な維持管理施設>

春日山城跡（駐車場、公衆トイレ）、愛の風公園（公衆トイレ）、愛宕谷公園（公衆トイレ）、親鸞聖人上陸の地（駐車場）、鏡ヶ池公園、前島記念公園、芳沢記念公園（記念館）、寺町駐車場、寺町3丁目公衆トイレ、国分寺駐車場、居多神社前駐車場（公衆トイレ）、南高田駅駐輪場（公衆トイレ）、林泉寺駐車場（公衆トイレ）、浄興寺公衆トイレ、高田駅前公衆トイレ、直江津駅前公衆トイレ、西ヶ窪浜公衆トイレ、心のふるさと道、南葉山登山道、なおえつ海水浴場、たにはま海水浴場、谷浜跨線橋、上越妙高駅観光案内所及び商業施設、直江津駅前観光案内所、高田駅前観光案内所、観光案内看板、公衆無線LAN等

<経費>

- ・会計年度任用職員報酬、報償費、旅費（228）
- ・消耗品費、光熱水費（8,818）
- ・修繕料（5,642）
- ・光回線利用料、し尿くみ取り手数料等役員費（4,384）
- ・看板作成委託料（198）
- ・施設管理委託料（581）
- ・観光施設清掃・整備委託料（3,853）
- ・各公園等管理委託料（2,632）
- ・公衆便所浄化槽及び清掃維持管理委託料（5,757）
- ・海岸清掃・整備委託料（17,421）
- ・海水浴場事業委託料（15,065）
- ・観光案内板差替委託料（1,089）
- ・公衆無線LAN機器保守委託料（119）

- ・機械借上料、土地借上料、事務所借上料等 (5,390)
- ・看板撤去工事 (8,933)
- ・諸資材費 (68)
- ・公衆無線LAN機器電気料負担金 (4)
- ・谷浜跨線橋点検費負担金 (8,214)
- ・たにはま海水浴場臨海学校受入整備事業補助金 (300)

[安塚区] 1,176

<主な維持管理施設>

直峰城跡公衆トイレ、信越トレイル、観光案内看板等

<経費>

- ・消耗品費、光熱水費 (34)
- ・修繕料 (8)
- ・浄化槽水質検査手数料 (5)
- ・各公園等管理委託料 (375)
- ・土地借上料 (661)
- ・諸資材費 (93)

[新] [浦川原区] 1,141

<主な維持管理施設>

旧霧ヶ岳温泉ゆあみ広場・公衆トイレ、観光案内看板

<経費>

- ・消耗品費、光熱水費 (152)
- ・修繕料 (20)
- ・浄化槽水質検査手数料 (9)
- ・施設管理委託料 (600)
- ・土地借上料 (219)
- ・看板撤去工事 (141)

[牧区] 1,671

<主な維持管理施設>

弘法清水自然公園、信越トレイル接続道(宇津俣峠)、観光案内看板

<経費>

- ・消耗品費、光熱水費 (44)
- ・修繕料 (361)
- ・弘法清水自然公園水質検査手数料 (139)
- ・各公園等管理委託料 (1,052)
- ・土地借上料 (75)

[柿崎区] 14,037

<主な維持管理施設>

柿崎中央海水浴場(駐車場、公衆トイレ)、大出口公園(公衆トイレ)、坂田池園地(駐車場、遊歩道、公衆トイレ)、米山登山道、下牧休憩施設、上下浜温泉源泉施設、観光案内看板等

<経費>

- ・報酬 (30)

- ・消耗品費、光熱水費（1,012）
- ・修繕料（4,331）
- ・し尿くみ取り手数料等（308）
- ・観光施設清掃・整備委託料（1,237）
- ・各公園等管理委託料（351）
- ・公衆便所浄化槽及び清掃維持管理委託料（537）
- ・上下浜温泉源泉受湯槽清掃業務委託料（500）
- ・海岸清掃・整備委託料（962）
- ・海水浴場事業委託料（4,421）
- ・土地借上料（298）
- ・諸材料費（50）

〔大潟区〕 7,028

＜主な維持管理施設＞

鵜の浜海水浴場（鵜の浜海岸、公衆トイレ）、人魚伝説公園、観光案内看板等

＜経費＞

- ・消耗品費、光熱水費（323）
- ・修繕料（1,038）
- ・し尿くみ取り手数料等（233）
- ・観光施設清掃・整備委託料（60）
- ・海岸清掃・整備委託料（643）
- ・海水浴場事業委託料（4,326）
- ・土地借上料（326）
- ・下水道使用料（79）

〔頸城区〕 5,600

＜主な維持管理施設＞

大池いこいの森（キャンプ場、遊歩道、駐車場、公衆トイレ、案内看板等）

＜経費＞

- ・消耗品費、光熱水費（461）
- ・修繕料（1,246）
- ・し尿くみ取り手数料等（657）
- ・各公園等管理委託料（2,342）
- ・公衆便所浄化槽及び清掃維持管理委託料（81）
- ・土地借上料（552）
- ・集落排水使用料（153）
- ・諸資材費（20）
- ・踏み荒し補償料（88）

〔吉川区〕 2,254

＜主な維持管理施設＞

長峰池公園（駐車場、公衆トイレ、遊歩道）、尾神岳遊歩道・展望台、パノラマハウス、尾神岳公衆トイレ、観光案内看板等

＜経費＞

- ・消耗品費、光熱水費（183）
- ・修繕料（118）

- ・し尿汲み取り手数料等 (68)
- ・各公園等管理委託料 (1,285)
- ・公衆便所浄化槽及び清掃維持管理委託料 (295)
- ・土地借上料 (242)
- ・諸資材費 (63)

[中郷区] 6,930

<主な維持管理施設>

泉縄文公園 (駐車場、公衆トイレ)、桜並木、松ヶ峯温泉源泉施設、松ヶ峯公衆トイレ

<経費>

- ・会計年度任用職員報酬、旅費 (752)
- ・消耗品費、光熱水費 (1,926)
- ・修繕料 (200)
- ・電信電話料 (77)
- ・浄化槽水質検査手数料 (9)
- ・各公園等管理委託料 (3,668)
- ・公衆便所浄化槽及び清掃維持管理委託料 (138)
- ・土地借上料 (144)
- ・下水道使用料 (16)

[板倉区] 2,090

<主な維持管理施設>

箕冠城址公園、山寺薬師公衆トイレ、聖の窟、玄藤寺湖畔公園、信越トレイル接続道 (光ヶ原、筒方峠、久々野峠)、観光案内看板等

<経費>

- ・消耗品費、燃料費、光熱水費 (204)
- ・修繕料 (101)
- ・浄化槽水質検査手数料 (9)
- ・車検手数料 (13)
- ・自賠責保険料 (20)
- ・施設管理委託料 (140)
- ・観光施設清掃・整備委託料 (567)
- ・各公園等管理委託料 (607)
- ・公衆便所浄化槽及び清掃維持管理委託料 (270)
- ・土地借上料 (150)
- ・自動車重量税 (9)

[清里区] 713

<主な維持管理施設>

信越トレイル接続道 (梨平峠)

<経費>

- ・修繕料 (273)
- ・観光施設清掃・整備委託料 (440)

[三和区] 151

<主な維持管理施設>

東部緑地公園、観光案内看板等

<経費>

- ・施設管理委託料 (140)
- ・土地借上料 (11)

[名立区] 290

<主な維持管理施設>

不動山登山道、観光案内看板等

<経費>

- ・不動山登山道整備業務委託料 (290)

[新]○地域独自の予算事業 3,230

- ・大池いこいの森施設運営事業 (頸城区)

大池・小池を活かした観光振興策の実施により、「住みたい、訪れたい」まち頸城区の実現に向け交流人口の増加を図るため、ビジターセンターを拠点にキャンプ場の維持管理を行う。また、物品販売や無料休憩場の開放等により利用者の利便性の向上を図る。

実施主体：特定非営利活動法人頸城区観光協会

※令和5年度のうち、一部の経費は7款1項3目の浦川原区霧ヶ岳温泉ゆあみ管理運営費から移行

歳出科目（P270～P271）	7款1項3目	観光交流費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
観光施設等管理事業	598,496	454,297	144,199

主な財源		主な経費	
県支出金	1,785	一般財源	433,234
諸収入	77	需用費	75,455
市債	163,400	役務費	927
		委託料	335,325
		使用料及び賃借料	3,300
		工事請負費	179,212
		備品購入費	2,785

【目的】

当市を訪れる観光客に安らぎと憩いの場を提供し、市内での長期滞在を促すことにより、市民との交流の促進や域内消費の拡大につなげ、地域の活性化を図る。

【5年度目標】

利用実績及び目標

(単位：人)

年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (12月末現在)	5年度 (目標)
利用者数 (施設数)	947,328 (15施設)	491,713 (15施設)	573,759 (14施設)	498,123 (13施設)	799,210 (13施設)

※令和3年度から三和ネイチャーリングホテル米本陣が休館し、令和4年度に譲渡

※令和4年度から吉川緑地等利用施設を廃止

【実施内容】

- ・指定管理者制度導入施設の管理運営費（13施設）

五智歴史の里会館、リフレッシュビレッジ施設（くわどり湯ったり村、ヨーデル金谷、ゆったりの家）、安塚雪だるま高原、牧湯の里深山荘、柿崎マリンホテルハマナス、大瀧健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館、吉川スカイトピア遊ランド、吉川ゆったりの郷、板倉保養センター、ゑしんの里記念館、うみてらす名立

- ・除却施設（1施設）

大島あさひ荘

[新]○観光施設等管理総務費 560

- ・社会経済情勢の変化や施設の老朽化等を見据え、観光施設等の適正配置や管理運営の一層の効率化に向けた取組を進める。

科目	4年度	5年度	増減	実施内容
報償費	—	105	105	選定委員会委員報償金等 105
旅費	—	122	122	選定委員会委員旅費等 122
役務費	—	222	222	広告料 222
使用料及び賃借料	—	111	111	有料道路使用料 111
合計	—	560	560	

○五智歴史の里会館管理運営費 5,989

- ・指定管理者 五智歴史の里協議会
- ・指定管理期間 令和3年4月1日～令和6年3月31日
- ・利用実績 11,160人(3年度)
10,000人(4年4月～4年12月)
- ・5年度目標 20,000人
- ・事業費内訳

科目	4年度	5年度	増減	実施内容
需用費	284	0	△284	
委託料	5,857	5,923	66	建築設備定期点検委託料 66 指定管理委託料 5,857
備品購入費	0	66	66	テレビ・DVDプレーヤー購入 66
合計	6,141	5,989	△152	

○リフレッシュビレッジ管理運営費 77,252

- ・指定管理者 リフレ上越山里振興株式会社
- ・指定管理期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日
- ・利用実績 47,239人(3年度)
42,903人(4年4月～4年12月)
- ・5年度目標 64,450人
- ・事業費内訳

科目	4年度	5年度	増減	実施内容
需用費	5,107	13,362	8,255	一般営繕修繕 3,348 くわどり湯ったり村排煙オペレーター修繕 8,030 くわどり湯ったり村第一沈殿槽内部清掃及び塗裝修繕 1,144 ゆったりの家茅葺屋根シート撤去及び養生修繕 840
委託料	66,973	60,764	△6,209	除雪業務委託料 840 指定管理委託料 59,924
使用料及び賃借料	510	544	34	除雪機借上料 504 誘客案内看板用土地借上料 40
工事請負費	1,147	2,376	1,229	くわどり湯ったり村除鉄除マンガンろ過材全量交換工事 2,376
備品購入費	3,795	206	△3,589	くわどり湯ったり村ろ過水ポンプ購入 206
合計	77,532	77,252	△280	

○安塚雪だるま高原管理運営費 34,755

- ・指定管理者 株式会社スマイルリゾート
- ・指定管理期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日
- ・利用実績 62,983人(3年度)
10,235人(4年4月～4年12月)

・5年度目標 77,730人

・事業費内訳

科目	4年度	5年度	増減	実施内容
報償費	0	83	83	新第2リフト建設事業事業者選 定委員会委員報償金 83
旅費	0	35	35	新第2リフト建設事業事業者選 定委員会委員費用弁償等 35
委託料	30,666	34,615	3,949	指定管理委託料 31,067 インクルーシブ野外活動推進委 託料 3,548
使用料及び賃借料	0	22	22	有料道路使用料 22
工事請負費	3,858	0	△3,858	
備品購入費	3,590	0	△3,590	
合計	38,114	34,755	△3,359	

[充]インクルーシブ野外活動推進事業 3,574（上記表より再掲）

ハンディキャップ等に捉らわれず、家族や友人と共に野外活動の機会と時間を
楽しむことができる「インクルーシブ野外活動」の取組を推進するため、雪だる
ま高原を拠点として、障がい者スキープログラムの実施に加え、新たに信州大学
及び慶応義塾大学との共同研究に取り組む。

*共同研究の内容

- ・ニーズ調査の実施
- ・インクルーシブ野外活動に関する知識と理解を広げるセミナーの開催
- ・ユニバーサルフィールド・コンシェルジュ（企画運営担当）の養成
- ・インクルーシブ野外活動指導員の養成

○牧湯の里深山荘管理運営費 23,686

- ・指定管理者 株式会社太平堂
- ・指定管理期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日
- ・利用実績 8,071人（3年度）
9,144人（4年4月～12月）
- ・5年度目標 15,100人
- ・事業費内訳

科目	4年度	5年度	増減	実施内容
需用費	3,239	5,056	1,817	一般備品修繕 768 一般営繕修繕 2,959 温調三方弁修繕 809 畳修繕 520
役務費	95	95	0	Wi-Fi回線等使用料 95
委託料	20,981	18,171	▲2,810	指定管理委託料 18,171
使用料及び賃借料	384	364	▲20	複写機賃借料 19 AED機器借上料 86 マイクロバス賃借料 212 LPガス供給設備借上料 47
合計	24,699	23,686	▲1,013	

○柿崎マリンホテルハマナス管理運営費 37,459

- ・指定管理者 柿崎総合開発株式会社
- ・指定管理期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日
- ・利用実績 11,499人(3年度)
9,261人(4年4月～4年12月)
- ・5年度目標 16,700人
- ・事業費内訳

科目	4年度	5年度	増減	実施内容
需用費	5,939	7,295	1,356	一般修繕料 1,303
				浴場循環配管洗浄他修繕 3,256
				正面外壁防水修繕 1,636
				厨房エアコン取替修繕 1,100
役務費	108	109	1	Wi-Fi回線等使用料 108 収入印紙購入 1
委託料	36,590	29,136	△7,454	指定管理委託料 29,136
使用料及び賃借料	217	210	△7	AED機器借上料 99
				駐車場用地借上料 111
備品購入費	0	497	497	厨房製氷機購入 497
負担金補助及び交付金	212	212	0	公共下水道受益者負担金 212
合計	43,066	37,459	△5,607	

○大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館管理運営費 67,407

- ・指定管理者 株式会社大潟地域活性化センター
- ・指定管理期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日
- ・利用実績 72,992人(3年度)
58,560人(4年4月～4年12月)
- ・5年度目標 96,300人
- ・事業費内訳

科目	4年度	5年度	増減	実施内容
需用費	14,966	12,590	△2,376	一般営繕修繕 3,000
				プール系統ろ過器ろ材取替修繕 6,710
				自家発電設備蓄電池取替修繕 680
				加圧式給水用ポンプ取替修繕 2,200
役務費	88	88	0	Wi-Fi回線等使用料 88
委託料	57,031	53,888	△3,143	ESCO事業委託料 3,224 指定管理委託料 50,664
使用料及び賃借料	841	841	0	ポスレジシステム借上料 841
合計	72,926	67,407	△5,519	

○吉川スカイトピア遊ランド管理運営費 11,407

- ・指定管理者 株式会社みなもとの郷
- ・指定管理期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日
- ・利用実績 5,437人(3年度)
5,848人(4年4月～4年12月)
- ・5年度目標 8,400人
- ・事業費内訳

科目	4年度	5年度	増減	実施内容
需用費	3,324	1,337	△1,987	一般営繕修繕 904
				客室エアコン取替修繕 433
委託料	10,662	8,451	△2,211	指定管理委託料 8,451
使用料及び賃借料	1,063	992	△71	複写機借上料 66
				AED機器借上料 77
				自動車借上料 849
工事請負費	180	627	447	ホール空調機設置工事 627
合計	15,229	11,407	△3,822	

○吉川ゆったりの郷管理運営費 35,223

- ・指定管理者 株式会社ゆったりの郷
- ・指定管理期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日
- ・利用実績 87,354人(3年度)
77,507人(4年4月～4年12月)
- ・5年度目標 107,450人
- ・事業費内訳

科目	4年度	5年度	増減	実施内容
需用費	8,238	19,469	11,231	一般営繕修繕 3,740
				大広間前ファンコイル取替修繕 1,683
				屋内消火栓配管水漏れ修繕 158
				防火シャッター修繕 856
				丸・角風呂タイル修繕 1,683
				貯湯タンクバルブ取替修繕 501
				冷却水ポンプ配線修繕 176
				地下ピット内配管取替修繕 519
				風呂脱衣室ファンコイル(2台)取替修繕 2,074
				大浴ろ過ポンプ・架台取替修繕 1,622
				井水系統膨張タンク取替修繕 6,457
				役務費
委託料	20,818	14,882	△5,936	指定管理委託料 14,882
工事請負費	0	790	790	2階和室エアコン設置工事 790
備品購入費	4,268	0	△4,268	
合計	33,416	35,223	1,807	

○板倉保養センター管理運営費 20,743

- ・指定管理者 黒倉ふるさと振興株式会社
- ・指定管理期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日
- ・利用実績 29,112人(3年度)
26,500人(4年4月～4年12月)
- ・5年度目標 38,500人
- ・事業費内訳

科目	4年度	5年度	増減	実施内容
需用費	1,560	2,231	671	一般営繕修繕 1,326
				男子浴室タイル補修工事 455
				客室畳表替え修繕 149
				3階大広間畳表替え修繕 301
委託料	23,546	18,512	△5,034	指定管理委託料 18,512
合計	25,106	20,743	△4,363	

○ゑしんの里記念館管理運営費 20,139

- ・指定管理者 一般財団法人ゑしんの里観光公社
- ・指定管理期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日
- ・利用実績 7,282人(3年度)
5,955人(4年4月～4年12月)
- ・5年度目標 8,500人
- ・事業費内訳

科目	4年度	5年度	増減	実施内容
需用費	2,611	4,272	1,661	一般営繕修繕 533
				サッシ周り防水工事 689
				雨漏り修繕工事 2,261
				エアコン入替修繕 789
委託料	16,044	15,803	△241	指定管理委託料 15,803
使用料及び賃借料	64	64	0	AED機器借上料 64
合計	18,719	20,139	1,420	

○うみてらす名立管理運営費 144,125

- ・指定管理者 株式会社B J・株式会社ゆめ企画名立
- ・指定管理期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日
- ・利用実績 229,780人(3年度)
242,210人(4年4月～4年12月)
- ・5年度目標 346,080人

・事業費内訳

科目	4年度	5年度	増減	実施内容
需用費	7,210	9,843	2,633	一般営繕修繕 4,830 健康交流館風呂機械室ろ過機温度指示機器修繕 1,089 健康交流館露天風呂ろ過ポンプ修繕 820 健康交流館男女浴室腰板修繕 753 健康交流館屋内プールアイテムポンプ修繕 916 中庭プール薬液タンク修繕 330 中庭プール海水取水ポンプ修繕 346 ホテル光鱗客室窓修繕 759
役務費	330	331	1	電話料(道の駅公衆電話) 34 Wi-Fi回線等使用料 297
委託料	75,180	75,180	0	E S C O事業委託料 8,080 指定管理委託料 67,100
使用料及び賃借料	120	152	32	誘客案内看板用土地借上料 71 急速充電器電気使用料 81
工事請負費	7,343	56,556	49,213	健康交流館、地場物産館冷温水発生設備更新工事 44,440 自動火災報知設備受信機更新工事 9,161 健康交流館サウナ室内装改修工事 1,635 ホテル光鱗客室テラス柵改修工事 1,320
備品購入費	4,295	2,016	△2,279	健康交流館 2階厨房食器洗浄機購入 1,317 健康交流館 2階厨房ガステーブル購入 394 健康交流館 2階厨房フライヤー購入 305
負担金補助及び交付金	47	47	0	道の駅連絡協議会負担金 47
合計	94,525	144,125	49,600	

○大島あさひ荘管理運営費 118,863 ※平成27年1月から休館

- ・建物全体の老朽化が進み、強風による屋根の破損の状況等から、早急に対応する必要があるため、除却工事を行う。

・事業費内訳

科目	4年度	5年度	増減	実施内容
委託料	2,024	0	△2,024	
工事請負費	0	118,863	118,863	[新]施設解体工事 118,363
合計	2,024	118,863	116,839	

[新]○地域独自の予算事業 888

・いたくら里山彩花事業（板倉区）

板倉区の観光スポットである、板倉保養センター（あしんの里やすらぎ荘）の集客や地域活性化を目的とし、来訪者に里山風景を楽しんでいただくため、施設周辺に花を植栽し、花壇柵や案内看板などの整備を行う。

実施主体：みどりやすらぎグループ

※令和5年度のうち、一部の経費は7款1項1目の第三セクター経営改善事業から移行

提出課	観光交流推進課
-----	---------

歳出科目 (P270～P271)	7款1項3目	観光交流費
------------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
通年観光推進事業	8,840	0	8,840

主な財源		主な経費	
県支出金	4,125	旅費	529
一般財源	4,715	需用費	314
		委託料	7,942
		使用料及び賃借料	55

【目的】

「大勢の来訪者が年間を通して楽しめるまち」の実現に向け、歴史・文化資源をいかし、来訪者の受入環境を整え、市内での滞在時間の増加、経済効果を生み稼ぐ仕組みの構築を目指す。

【5年度目標】

高田、直江津、春日山の各エリアにおいて、地域や関係団体等と合意形成を図りながら、令和6年度から令和12年度を対象期間とする計画を策定する。

【実施内容】

[新]・通年観光計画策定支援等業務委託 (7,942)

- 業務内容：計画づくりに関する助言、将来イメージ図の作成、地域説明会の運営等
- ・その他普通旅費等 (898)

提出課	施設経営管理室
-----	---------

歳出科目 (P 272～P 273)	7 款 1 項 5 目	観光物産センター費
--------------------	-------------	-----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
観光物産センター管理運営費	2,518	21,381	△18,863

主な財源		主な経費	
一般財源	2,518	需用費	1,618
		役務費	81
		委託料	783
		使用料及び賃借料	36

【目的】

休止施設を適切に維持管理する。

【実施内容】

- ・需用費 1,618 (電気料金、水道料金)
- ・役務費 81 (電話料)
- ・委託料 783 (機械警備、電気保安業務、看板修正)
- ・使用料及び賃借料 36 (下水道使用料)

※今後の施設の利活用方策について早期に決定する。

【施設の概要】

- ・所在地 大字藤野新田 175 番地 1
- ・設置 平成 3 年度
- ・構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 2 階建て
- ・施設内容 大ホール：592 m²、中ホール：157 m²、会議室：111 m²
ふるさとコーナー、事務所 ※令和 5 年度から休止
- ・面積 延床 2,463.59 m²
- ・管理 直営
- ・利用形態 貸館施設 ※令和 5 年度から休止

提出課	産業立地課
-----	-------

歳出科目（P282～P283）	8款4項1目	港湾管理費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
港湾管理費	1,941	432	1,509

主な財源		主な経費	
諸収入	35	需用費	109
一般財源	1,906	負担金補助及び交付金	
		役務費	105
		備品購入費	537
			1,190

【目的】

港の役割や機能について広く周知・啓発することにより、港への理解を深め、直江津港の賑わいの創出を図る。

【5年度目標】

直江津港を身近に感じてもらい、海や港で働く人の仕事に興味を持ってもらう機会を創出する見学会を12回開催し、350人の参加を目指す。

【実施内容】

(1) 賑わい創出事業（706）

・直江津港見学会

港湾関係団体や港周辺立地企業等の協力を得ながら、直江津港の役割や機能を周知するとともに、海や港で働く人の仕事を紹介する見学会を開催する。

<実施概要（予定）>

開催回数 12回

協力団体 港湾関係団体、港周辺立地企業

事業内容 直江津港の紹介、港湾施設やエネルギー関連施設の見学、巡視艇や監視艇などの体験乗船、VR機器を用いた疑似体験、小木直江津航路のPR等

(2) 直江津港案内看板等の維持管理（45）

・直江津港案内看板等の修繕

[新](3) 地域独自の予算事業（1,190）

・交流と賑わいによる「みなとまちづくり」事業（直江津区）

直江津港を拠点としたまちの活性化を図るため、港の施設活用や地域関係者との連携を図りながら、「うみまち親子ふれあいイベント」や「佐渡寒ブリ祭り事業」の魅力あるイベントを行う。

実施主体：直江津港周辺活性化協議会

歳出科目 (P282～P283)	8 款 4 項 1 目	港湾管理費
------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
港湾整備事業	2,200	2,286	△86

主な財源		主な経費	
諸収入	112	旅費	300
一般財源	2,088	需用費	6
		負担金補助及び交付金	1,894

【目的】

港湾関係団体と連携を図りながら、港湾計画に基づく直江津港の整備を促進することにより、当市の重要な産業基盤である直江津港の機能強化を図る。

【5年度目標】

国や新潟県が実施する直江津港の整備が計画どおり進められるよう要望活動を行う。

【実施内容】

日本港湾協会、新潟県港湾協会等関連団体への負担金支出及び総会等への参加とともに、港湾関係者や他自治体との関係構築、情報交換を行う。

■令和5年度以降の直江津港整備箇所図

※国・新潟県の予算措置の状況により変更となる場合がある。

